

イオンモール CSRレポート

2015

未来への報告書



つなげたい想いを、かたちに。



イオンモール株式会社

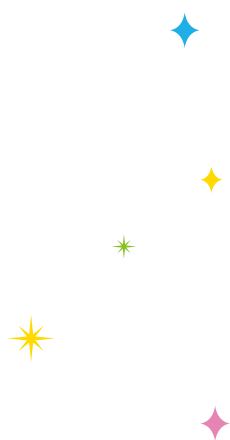
暮らしの 未来をつくる。

地域や社会、
そして地球のために、
ショッピングモールには、
まだまだできることがある。
未来へつなげたい想いを、
ひとつずつかたちに。
私たちは、イオンモールです。



Top message

変わりゆく時代の中で
ショッピングモールの
新たな価値を創造し、
社会的責任を
果たしてまいります。



当社はイオングループの中核企業としてディベロッパー事業を担い、日本国内に141、中国に6、アセアンに3のショッピングモールを展開しています*。今後も国内・海外において積極的なモールの出店を計画していますが、「アジアNo.1の商業ディベロッパー」という目標を達成するには、出店数を拡大するだけでなく、ひとつひとつのモールが真にお客さまから望まれ、愛される商業施設になっていくことが大切だと考えています。

*2015年4月末現在

ネットショッピングで欲しいものが手に入る時代にあって、これからのショッピングモールには、そこでしかできない体験、リアルタイムな情報、ご家族やご友人との満ち足りた

時間など、お客さまのライフデザインを行う、新しい価値の提供が求められています。岡山駅前の一大情報発信拠点となったイオンモール岡山、地域や観光客の皆さまがゆったりとした時間を過ごせるイオンモール沖縄ライカムなど、新規のモールではこれまでの商業施設にはない試みに挑戦しました。既存のモールも定期的なリニューアルを行い、いつ訪れても新たな楽しみが見つかるショッピングモールを追求し続けます。

一方で、地域との共生や環境負荷低減についても、私たちは商業施設の枠を越えた取り組みを続けています。東日本大震災以降、各モールでは被災時に地域の復興拠点として機能するための体制づくりをさらに強化してまいりました。

また、専門店のご理解もいただいてLED化や廃棄物削減・リサイクルにいっそう注力しています。従来より率先してEV（電気自動車）充電器の設置拡大を進めてきたように、第2次産業から生まれる有効な仕組みの受け皿として、生活者の皆さまが安心して利用できる環境を広めることも私たちの使命だと考えています。各モールでは、こうした当社の活動をお客さまに報告するとともに、ご家庭でもできる環境関連の取り組みなどを積極的に呼びかけてまいります。

かつて私が赴任していた中国でも、環境への意識が急速に高まり、当初はさほど注目されていなかったモール内の設備や取り組みが関心を集めています。真の意味でアジアを代表するディベロッパーとなるために、これからも社会や環境に

配慮し、地域から愛されるモールづくりを貫いてまいります。
引き続きご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

イオンモール株式会社
代表取締役社長

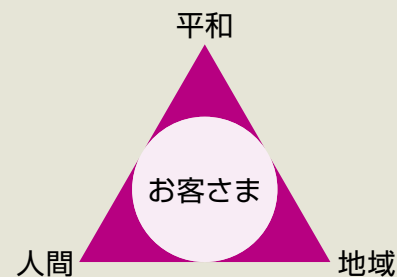
吉田 昭夫



イオングループの中核企業として、日本全国、アジアでショッピングモールの開発・運営を進めています。

イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、
人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオン (AEON) とは、ラテン語で「永遠」をあらわします。
私たちの理念の中心は「お客さま」：イオンは、お客さまへの貢献
を永遠の使命とし、最もお客さま志向に徹する企業集団です。

「平 和」：イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける
企業集団です。

「人 間」：イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する
企業集団です。

「地 域」：イオンは、地域の暮らしに根ざし、地域社会に貢献し
続ける企業集団です。

イオンモールの理念

基 本 理 念

お客さま第一

経 営 理 念

イオンモールは、 地域とともに「暮らしの未来」をつくる Life Design Developerです。

※Life Designとは
商業施設の枠組みを越えて、一人ひとりのライフステージを見据えた
さまざまな機能拡充を行い、ショッピングだけでなく、人との出会い
や文化育成なども含めた“暮らしの未来”をデザインすること。

経 営 ビ ジ ョ ン

アジア50億人の心を動かす企業へ

- 私たちは、パートナーとともに、
地域の魅力を磨きつづける究極のローカライズに挑戦します。
- 私たちは、一人ひとりがLife Design Producerとして、
商業施設の枠組みを越え、新たな「暮らし」を創造する
事業領域を拓き、成長し続けます。
- 私たちは、世界中の拠点をはじめとする全ての資産を活かし、
永続的に発展することで、強い財務体質と強固な事業基盤を
構築します。
- 私たちは、革新し続けるプロフェッショナル集団です。
- 私たちは、お客さまに徹底して寄り添い、
生涯わすれえない思い出となる最良の体験を共有します。

コーポレート・メッセージ

ひと、まちも、きらきら。

会社概要

社名	イオンモール株式会社
設立	1911年(明治44年)11月
資本金	422億743万円(2015年2月現在)
事業内容	大規模地域開発及び ショッピングモール開発と運営 不動産売買・賃貸・仲介 [国土交通大臣(2)第7682号]
従業員数	3,334名(2015年2月末現在)

【編集方針】

この報告書は、イオンモール株式会社が果たすべき社会的責任の
目標と実績、私たちが携わるまちづくりについてのご報告と今後の
課題について記述しています。

【報告書の対象範囲】

対象組織	イオンモール株式会社 イオンモール株式会社に属するグループ企業と その管理する施設が原則となりますが、 環境指標については、イオンリテール株式会社から 管理受託を受けている69モールおよび、 mozo wondercity、大津ショッピングプラザ、 ショッピングセンター ソヨカ ふじみ野、 神戸ハーバーランドumieを除きます。
対象期間	2014年3月1日から2015年2月28日 対象期間外の情報に関してはそのつど表記しています。 また社員の役職は2015年4月末現在のものです。
発行	2015年5月

目 次

トップメッセージ	4
MALL NEWS	8
特集① イオンモールと地域雇用	10
② アジアにおけるCSR	12
③ ショッピングモール変革期	16
イオンモール CSRの「5つの柱」	20
地域とともに 継続的な地域社会への貢献	22
パートナーとの協力 健全で良好なパートナーシップの推進	26
社員の職場環境 すべての人が活き活きと働く職場の実現	28
モールの安全管理 不断の安全追求から生まれる安心の獲得	30
環境への配慮 地域から地球へ、環境保全の推進	32
コーポレート・ガバナンスに対する取り組み	36
イオンモール データ集	37
2014年度 SR会計報告	40
第三者意見	42

MALL NEWS 2014-2015

ASEAN

カンボジア1号店がオープン アセアン各国への出店を本格化



2014年6月、カンボジア王国の1号店として「**イオンモール プノンペン**」がオープン。最先端のテナントミックスで190の専門店が揃い、シネマコンプレックスやスケートリンクも備えた同国初の本格的なショッピングモールです。オープンから8ヶ月で1,000万人を超えるお客さまにご来店いただきました。

ベトナムでは2014年11月、ビンズオン省に同国2号店となる「**イオンモール ビンズオンキャナリー**」がオープン。日系企業で初めてベトナムでのマスターリースライセンスを取得した現地法人「AEONMALL BINH DUONG COMPANY LIMITED」がマスターリースで受託・運営しています。

また2015年秋には同国ハノイ市にベトナム3号店「**イオンモール ロンビエン**」をオープン予定です。

さらにインドネシアでも2015年5月にインドネシア1号店「**イオンモールBSD CITY**」をオープンするなど、アセアン各国への出店をさらに加速してまいります。

日本国内

西日本最大級を誇るイオンの旗艦店 イオンモール岡山がオープン



2014年12月、岡山県のJR岡山駅前に「**イオンモール岡山**」がオープン。

「haremachい わたしのみらいをつくるまち」をコンセプトに、地下2階、地上8階のフロアに356店が集結。4層吹き抜けの屋内型パブリックスペース「未来スクエア」、第2のグランドフロア「haremach Garden」をはじめとした独創的な空間づくりや、日本初となる地上波TV局、独自のネットテレビ放送局、岡山の文化を創造し発信する「おかやま未来ホール」「ハレマチ特区365」の導入など、従来の商業施設の枠を越えた文化・情報の一大発信拠点を形成しています。

大人のこだわりや好奇心を満たすモノやコトも取り揃え、地元百貨店による上質な食品ゾーンを展開するなど、都市型の新たなショッピングモールのあり方を提案する一方で、伝統産業振興や地元商店街との提携など、地域との連携も深めています。

中国

中国では蘇州市、武漢市へ初出店 各エリアでのドミナント形成も進行中



2014年4月、江蘇省蘇州市の経済開発区に同省1号店「**イオンモール蘇州吳中**」がオープン。

近隣の公園・道路にイオン(永旺)の名が採用されたほか、中国イオングループで初めて環境評価基準制度「綠色二星」を取得しました(P32参照)。蘇州市ではすでに3号店までの出店を決定してドミナントを形成しています。

湖北省武漢市でも、2014年12月に「**イオンモール武漢金銀潭**」がオープン。5年以内に5モール以上を開店するという武漢市人民政府との協力協定に基づく1号店です。オープンから100日で約300万人のお客さまにお越しいただきました。

2015年には、イオングループにおける中国最大面積のモールとなる旗艦店「**イオンモール武漢經開**」のオープンをはじめ、6モールのオープンを計画しています。

日本国内

立地や地域の特性に応じた 個性豊かなモールを全国各地にオープン



2014年度は国内でも新規出店が相次ぎました。その地域にもっとも相応しいモールのあり方を追求し、個々のコンセプトに基づいて特色のあるモールづくりを行っています。中でも、古都「京」の要素を現代的に取り入れた「**イオンモール京都桂川**」、地域の皆さまをはじめ国内外から訪れる観光客がゆったりとした時間を楽しめるリゾートモール「**イオンモール沖縄ライカム**」など、新たなコンセプトを掲げたモールが次々に誕生しました。

〈国内で2014年3月以降にオープンしたモール〉

- イオンモール和歌山(2014年3月オープン)
- イオンモール天童(2014年3月オープン)
- イオンモール名古屋茶屋(2014年6月オープン)
- イオンモール京都桂川(2014年10月オープン)
- イオンモール木更津(2014年10月オープン)
- イオンモール多摩平の森(2014年11月オープン)
- イオンモール岡山(2014年12月オープン)
- イオンモール旭川駅前(2015年3月オープン)
- イオンモール沖縄ライカム(2015年4月オープン)

特集① イオンモールと 地域雇用

～近隣住民とともにモールをつくる～



お客さまはもちろん、
働く人の笑顔も輝くまちに。

イオンモールはショッピングを楽しむ場所として
だけでなく、働く場所を提供することでも
地域の期待に応えています。

モールに勤務する方の大多数は近隣にお住まいで、
地域のことをよくご存じです。

そんな従業員の皆さまと協力して、
地元で根ざすモールを作り上げてまいります。



★ 各モールで数千人規模の安定した雇用を創出

地域に新しいモールがオープンすると、専門店の従業員はもちろん、警備・誘導・清掃・メンテナンス・館内物流なども含め、数千人単位に及ぶ雇用が生まれます。またモール周辺の幹線道路に大型店が進出することなどにより、地域の雇用も創出されます。2014年10月にイオンモール木更津がオープンした千葉県木更津市の公共職業安定所では、2014年4月に0.81だった有効求人倍率が同年12月には1.10にまで上昇しています*。雇用の創出は人口や税収の増加につながり、地域全体に間接的な効果を及ぼします。

*厚生労働省「職業安定業務統計」より



「モールではいろいろな地域から集まる幅広い世代のお客さまと接するので、自分自身が成長できると感じます。さまざまな業種の従業員さんと知り合って交流を深めるのも楽しいですね。」

イオンモール木更津
neiro[ねいる]
中浦 優美様



「地元育ちなので地域には愛着があります。子どもたちが大きくなったとき、望めば故郷で仕事に就ける環境をつくりたいですね。イオンモールを中心にまちを盛り上げたいと思っています。」

イオンモール木更津
株式会社アルポビルメンテナンス
鈴木 綾子様

★ 気持ちよく快適に働ける環境づくり

各モールで働く従業員に快適な職場環境をご提供するために、広い休憩室や従業員専用のコンビニエンスストアを設けるなど福利厚生面を充実させるとともに(P26参照)、公共交通機関でも無理なく通勤できるように営業時間前後のバス便の充実などを図っています。また、モールによっては小さなお子さまを預けて勤務できるようにモール内に託児所を誘致するなど、従業員の負担を軽減する態勢を整えています。

★ さまざまな人材が活躍できる場を提供

イオンモールでは多種多様な業種の専門店や関連会社が従業員を募集しているため、性別を問わず、また幅広い年代の方に、自分の興味や関心に沿った仕事を得るチャンスを提供しています。地元で就労できる利便性に加え、やりがいや目標をもって自分らしく仕事に取り組めること、また仕事を通して得る知識や技能を将来に活かせる可能性があることが、多くの応募をいただく要素のひとつになっています。



「路面店の本店と違って、モールの店舗ではたまたま前を通りかかったお客さまをいかに引き付けるかが勝負です。慣れ親しんだ地元で新たな名産を育てることにやりがいを感じています。」

イオンモール多摩平の森
高尾ポテト
坂本 夏海様



「イオンモールの担当者からいただく売場づくりのアドバイスはとても参考になって心強いです。緑があふれる大好きなこのまちで、たくさんのお客さまの期待に応えていきたいです。」

イオンモール多摩平の森
フェミニンカフェ
小森谷 良子様

★ 全従業員にモールへの所属意識を徹底

専門店や関連会社の従業員の方にもイオンモールの考え方や価値観を共有して働いていただくために、当社が主催する研修や勉強会に参加していただき、基本的な接客、お客さまの安全確保や環境負荷の低減などについてさまざまな指導やお願いをしています。また、震災時には全スタッフが協力してお客さまを安全に誘導できるよう、定期的に全館あげた一斉避難訓練も実施しています。

イオンモール幕張新都心に グループ事業所内保育園が開園



イオンゆめみらい保育園 園長
渡辺 敏江先生

2014年12月より、原則365日、7時から22時まで開園しています。散歩がてらにお母さまが働いている様子を見たり、ペットモールへ動物を見に行ったりできるのも館内の保育園ならではの特色ですね。今後は地域との連携も深めてさまざまなニーズに応えたいと考えています。

「ひとつ屋根の下」の安心感がいいですね。

イオンモール幕張新都心 樋屋 心
岡山 真由美様・果鈴ちゃん



娘が2歳半になった頃にそろそろ働きたいと思って市の保育園に申し込んだのですが、

何ヶ月待っても入れそうにありませんでした。諦めかけていた頃にこの保育園ができて、モールでの仕事も決まって本当に助かりました。子どもが同じ館内にいて、もし何かあったときにすぐ会いに行けるのはやっぱり安心ですね。夜遅くでも日曜日でも対応していただけるのでありがたいです。私も飲食店で元気に働くのは充実感がありますし、帰り道に娘がその日の出来事を嬉しそうに話すのを聞くのも楽しみになりました。



特集② アジアにおける CSR

～プノンペンからの報告～



先進的な取り組みを導入し、
国の模範となる商業施設へ。

2014年6月にカンボジア王国の首都に
オープンしたイオンモール プノンペン。

文化や風習が異なり、またインフラも十分とは
言えない環境の中で、どんなCSR活動に
取り組んできたのか。今後のアジア出店を
見据えて検証したいと思います。



★ 初めてだからこそ、最先端のモールを

カンボジア王国の首都プノンペン。王宮や各国の大使館に近い計画地に開設スタッフが着任したのは2011年末のことでした。近隣諸国の大都市に比べて人口が少なく、海外投資で着工された物件がことごとく未完成に終わっていたこともあり、当時は出店を疑問視する声もありました。しかし、初めての本格的なショッピングモールづくりは国家的な大事業。現地の人が見たことがない最先端のモールをつくって喜んでもらいたい。そんな想いで建設が始まりました。カンボジアでは建築資材も輸入が頼りで、そのぶん工期への配慮が必要になりました。

建設業者とのコミュニケーションはすべて英語で行いましたので、誤解が生じないよう気を使いました。最上階に本格的なスケートリンクを設けるなど、日本のモールづくりでは考えにくいユニークな試みも取り入れることができました。

建設部/ゼネラルマネージャー 野島 成晃



★ 基準は課せられるものではなく、つくるもの

イオンモールが考える最先端のモールとは、安全面や環境面でも規範となる商業施設です。しかしカンボジアには建築基準法も環境基準も存在しません。そこで自主的に厳しい基準を設け、ゼロから仕組みづくりを進めました。カンボジアでは初の試みとなるインバータ制御の空調や膜式のろ過装置を備えた浄化槽など、環境負荷の低い最新の設備を導入。リサイクル業者や廃油・生ごみの引取業者にはその後の処理方法が適切かどうかまで確認しました。さらに館内の停電を防ぐために2回線の電線を引き込んだほか、日本式の「KOBAN」を設置するなど、多方面から安全・安心への取り組みを強化しました。

現地での折衝には強い意志が必要です。頼れる法律やガイドラインがないので、自分の価値観が崩れそうになることもあります。自分はここに何をしに来たのか、イオンの一員として信じることをやり遂げようと自らに言い聞かせてきました。

オペレーションマネージャー 中西 学



バイク置き場の屋根とテラスアベニューの歩道に
合計1,680㎡の太陽光モジュールを設置



太陽光発電システムの稼働状況などをお客さま
にお知らせするエコステーション



カンボジアの商業施設で初めて設置された
お体の不自由な方専用駐車場



土日祝日には日本からの派遣災害ユニット
(RRC711)の救急車がモールに常駐



3名～5名の警察官が常駐する「KOBAN」を設置



360度、どこからでも話しかけやすい形状とした
インフォメーションカウンター



カンボジアの商業施設で初の「みんなのトイレ」を
全館で3箇所に設置



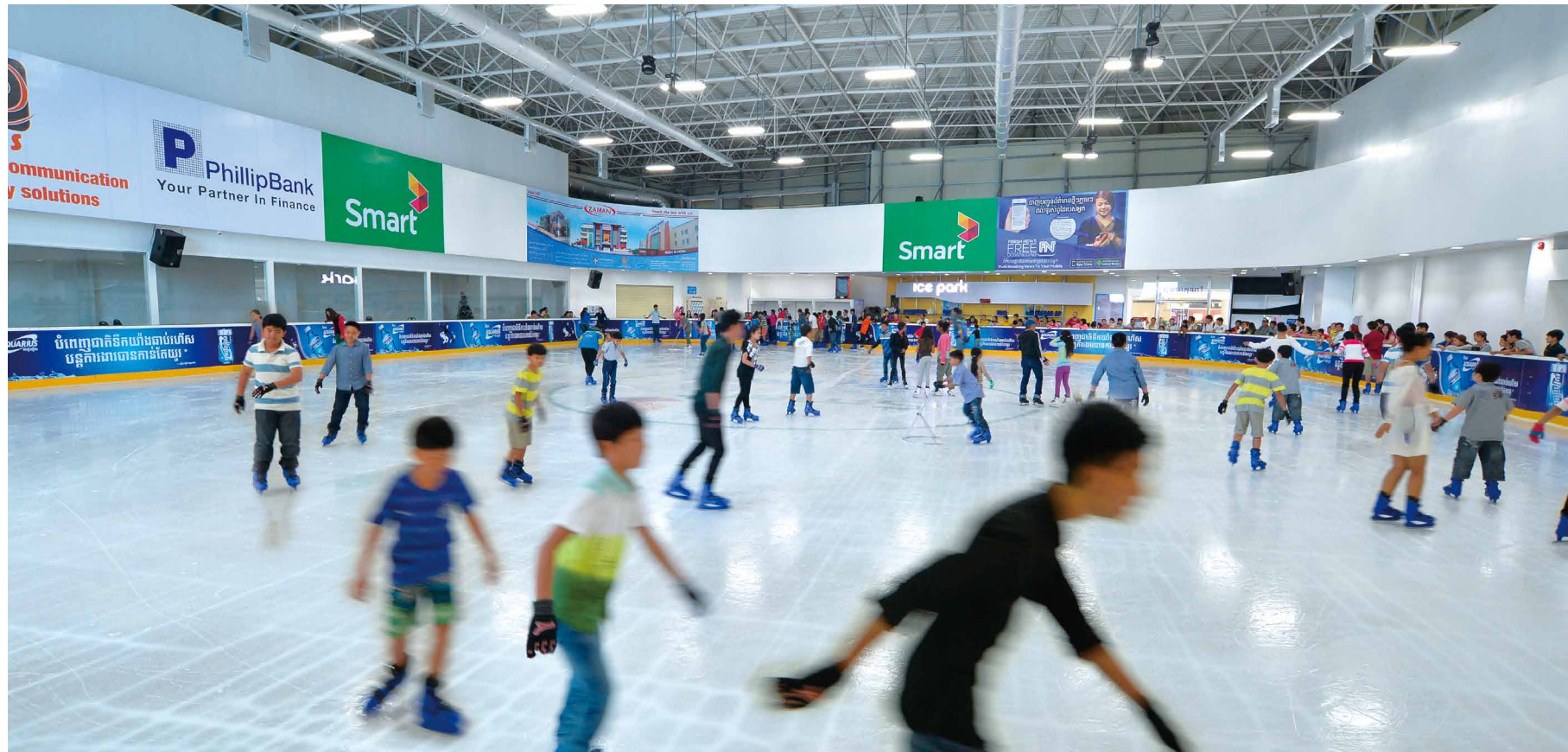
250㎡の広さを擁し、展示会や発表会など、さまざま
な催しに利用できるイオンホール



お祈りの必要なお客さまのために用意された男女
別のプレイルーム



専門店の従業員のほかトゥクトゥク（三輪タクシー）
のドライバーまで対象にした消火器の使用訓練



★ 気づきを与えて、価値観を共有する

イオンモール プノンベンでは、リーシングや設備管理に多くの優秀な現地スタッフが貢献しています。現地法人では、日本人対カンボジア人という構図を作らないよう、スタッフ皆で旅行や視察に出かけるなどして信頼関係を高めてきました。また各専門店の従業員に対しても、国内のモールと同様に毎月11日にクリーン＆グリーン活動に参加していただいた結果、自分の働く環境をきれいにしたいという意識も徐々に高まってきました。考えを押し付けるのではなく、新たな気づきを与えることでイオンの価値観の浸透を図っています。

モール全体の設備管理を担当しています。オープン当初は不安でしたが経験豊富な日本人スタッフの適切な指導もあって、少しずつ自信が持てるようになりました。私にとってイオンモールはもうひとつの家のようなもの。大きなチャンスをいただきましたので、しっかり仕事をして、ますます多くのお客さまにご来店いただきたいと思います。

ファシリティマネージャー メアス・キムレット



★ フロンティアから、トップランナーへ

2015年2月中旬には、年間目標だった来場者1,000万人を約8ヶ月で達成。館内には笑顔があふれ、プノンベンを代表する人気スポットになりました。その一方で、オープン後も新たな取り組みに次々と着手しています。エネルギー消費量をつねにチェックし、共用部の使用電力をオープン当時より約10%削減。同国の商業施設で初となる常設の献血会場もまもなくオープンします。もっと多くの方に新しいショッピング環境やコミュニティの場を提供し、国の成長や社会の成熟に貢献するために。チャレンジはこれからも続きます。

こちらでは、なぜ店にレジを置くのかという基本的な説明が必要な専門店さんもあります。海外でゼロからのスタート地点に立つのは、日本のモールで当たり前のようになってきたことを見直すいい機会です。何を日本のモールと同じにして、何を別のやり方にするかを細かく検討しました。

アドミニストレイティブマネージャー 三好 史晃



他のディベロッパーに先駆けて、当社が初めてプノンベンにショッピングモールをオープンできたことには大きな意義があります。カンボジアは海外資本の参入障壁が低く、通貨も米ドルという好条件が揃っています。各専門店も信頼できるディベロッパーの進出を待っており、まさに機が熟したタイミングで出店できました。2012年の起工式からフン・セン首相にご臨席いただくなど、国家的事業としてカンボジア政府に協力的な姿勢をいただいたことも、短期間でオープンできた要因だと考えております。いずれは現地のメンバーで運営できるよう、イオンの価値観を継承するローカルスタッフの育成にも注力してまいります。

イオンモール カンボジア
社長
矢島 誠



★ 新しい価値観を提示し、成長に貢献

さらなるマーケットの拡大が見込まれるアセアン地域には、専門店からも大きな関心が寄せられています。それぞれに異なる歴史・文化・宗教などを尊重しながら生活者の皆さまに新しい価値観を提示すべく、先行したベトナム・カンボジア・インドネシアに続き、タイ・ラオス・ミャンマーでも事業展開に向けたフィージビリティスタディを推進しています。それぞれのモールが得た利益をさらにその国に投資することで、国のさらなる発展や生活水準の向上に寄与することが私たちの使命だと考えています。すべてが一足飛びに進化するアセアン地域では環境に対する意識も急速に高まっており、人と環境に配慮したモールづくりでもイニシアチブを発揮してまいります。

取締役 アセアン本部長
玉井 貢



特集③ ショッピングモール 変革期

～コンセプトモールの展開～



そこにしかない魅力にあふれた
個性豊かなモールづくりを。

時代や立地が変われば、お客さまが求める
ショッピングモールのあり方も変わります。

市場の動向を見据え、地域の特性を最大限に
活かすためには、どんなモールであるべきか。

綿密な調査と蓄積したノウハウによって、
独自のコンセプトを掲げたモールを
全国各地に展開しています。



イオンモール木更津

★ 市場の変化と地域の特性を見据えた コンセプトモールづくり

長期にわたって事業を展開するモールビジネスでは、市場の動向や
お客さまのニーズを的確に把握することが求められます。最近では、
高齢化社会への移行、モノ消費からコト消費へのシフト、インター
ネットやスマートフォンの普及に伴うチャネルの拡大といった市場
動向への対応を積極的に進めてきました。また、多彩なロケーション
へ出店を拡大するにあたり、「そこにどんな商業施設が望まれて
いるのか」という視点で個々にコンセプトを定め、個性豊かなモール
づくりを進めています。

2013年春にオープンしたイオンモールつくばを契機として、
地域の特性や立地に応じたモールづくりを各地で展開して
まいりました。ハード面では機能・デザインとも従来になっ
た試みを積極的に導入し、各方面から高い評価をいただい
ています。

それぞれのモールコンセプトの方向性は、開発の初期段階
で決まっています。マーケット調査などを通して、そこにで
きるモールの姿をしっかりとイメージする力が私たちには求
められるのです。

新しいコンセプトを掲げたモールを開発する際には、私た
ちがつくろうとしている商業施設を分かりやすく視覚化した
プレゼンテーションに力を入れ、時にはCGの動画も駆使し
て完成形のイメージを地域の皆さまと共有しています。もち
ろん、最初からすべての方が出店を歓迎していただけるわけ
ではありません。いかに相手方のお話を誠意をもって受け止
め、時間をかけて信頼関係を築いていくか。そこに成功の法
則などはありません。

他社の商業施設の再生事業なども含めて、国内にもまだ開
発の余地は残されています。立地によって相応しいモール
のあり方はさまざまですが、方向性としては「多機能型」「多
核型」「観光型」「都市型」といったコンセプトを追求してい
くことになるでしょう。5年後、10年後の市場動向や消費環
境を予測するのは困難ですが、増床計画をはじめ、どんな
状況にも臨機応変に対応できる余地を設け、
いつまでもお客さまにとって新たな発見や
感動があるモールづくりを追求して
まいります。

専務取締役 開発本部長
岩本 馨



伝統と革新が融合する現代の町家 イオンモール京都桂川

知恩院の大屋根をイメージしたエントランスや「桂川
小路」と名付けられた食物販ゾーンなど、京都や和の
意匠から抽出した伝統的な要素を現代的に取り入れ、
施設全体を地域の景観に調和させました。かつての
町屋を彷彿とさせる賑わいを創出し、皆さまにさまざ
まなご縁を提供できる施設をめざします。



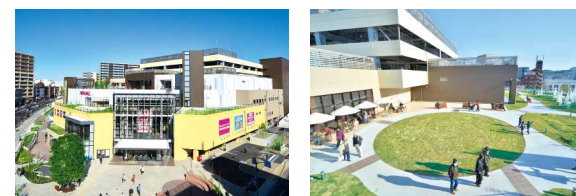
広大な敷地を活用した多核型モール イオンモール木更津

28.3万㎡の広大な敷地に、レジャー性の高い大型核
店舗を複数配置したモール棟と、その外部にアクティ
ブレジャーゾーンを配置した多核1モール型の商業施
設です。「みなとまち木更津再生プロジェクト」の一環
として、「訪れるひと、住まうひと、皆がつどい交流す
るまち」をコンセプトに掲げています。



緑豊かな地域に根ざす都市型モール イオンモール多摩平の森

JR中央線豊田駅北口から徒歩3分。日野市まちづ
くりマスタープランにおける交流拠点としてオープンし
ました。「～緑あふれるコミュニティの庭～」をコンセ
プトとし、豊かな森と水が育んだ多摩平の歴史を継
承するとともに、さまざまな世代がふれあうコミュニ
ティの拠点として賑わいの創出をめざしています。



京都駅から電車で5分、JR桂川駅に直結する当モールは、ビール工場
跡地に新たなまちづくりの一環としてオープンしました。61店舗にお
よぶ食の集積を構築するとともに、授乳室の使い勝手にまで工夫をこ
らし、どこよりも快適なショッピング環境の提供に努めています。
お茶席をイメージした玄間庭を演出する野点傘、四季折々の花の生け
込みなどはそれぞれ地元の老舗にお願いし、本物にこだわりました。
「京町家様式」という明確なコンセプトを開発当初より貫いてきたから
こそ、専門店の店づくりにも反映していただき、モール全体としてお客
さまに届くメッセージになったと思います。
敷地が京都市と向日市の両市にまたがっていますので、オープンまで
に両市の方から有益なご意見や情報をいただきました。近接する新築
マンション、学校、企業とも協力し、安全・安心な
まちづくりにおいても地域の一員としての役割を
果たしてまいります。

ゼネラルマネージャー
金森 修



多核1モールと4棟の外部棟を擁するイオンモール初のフォーマットを
採用しました。観光資源が豊富な南房総の立地を活かし、スポーツ&
アウトドアと車に関わる専門店でアクティブレジャーゾーンを構築し、
新しい楽しさを提供してまいります。
当モールは海から近く、市のハザードマップで想定される最大津波推
移を1m上回る高さにモールを建設しました。大型バス専用駐車場を
10台分設けたほか、中国語版のフロアガイドもご用意して、海外から
ご来店される方などさまざまなお客さまのご要望にお応えします。
オープン直前の2014年8月には、木更津市最大のお祭り「やっさいもっ
さい踊り」にイオンモール木更津から50名が参加しました。地元の農
産物や水産物を広くPRする「木更津マルシェ」の支援や会場提供を行
うなど、地域の活性化・地方創生にも
幅広く貢献しています。

ゼネラルマネージャー
山下 啓次



1950年代にベッドタウンとして建設された団地の建替えなどに伴い、
行政・市民・周辺企業で定めるまちづくり計画の一環として出店しまし
た。それほど広い敷地ではありませんが、地域の交流拠点として活用
いただけるスペースや、周辺の豊かな自然と融合する空間をゆったりと
設けています。
広域からの集客に目が向きがちな駅前立地ですが、まずは周辺地域の
皆さまから確かなご支持をいただくことを心がけています。住宅や保
育園に接していますので、交通渋滞はもちろん、従業員の通勤時のマ
ナーなどにも注意を払っています。
ご利用金額の一部が地域活性化に利用される「ひの新選組WAON」は
傑出した販売枚数と利用実績を挙げています。今後は日野市のイベン
トやサービスを当モールで実施していくとともに、
「ひのよさこい祭り」にも協力し、新たなまちづくりの
一翼を担ってまいります。

ゼネラルマネージャー
中谷 宜弘



NEW CONCEPT MALL

イオンモール岡山 (2014年12月オープン)

JR岡山駅から地下道で直結する、地下2階・地上8階の多層階モール。
広く中四国エリアの皆さまの期待に応えるイオンの旗艦店として、
これまでにない「未来のマチ」をめざします。

haremach
わたしの未来をつくるまち



多様なメディアミックスで大都市の駅前から最新情報を発信。
地元の文化・芸術の創造拠点としても地域に広く貢献します。



おかやま未来ホール



ハレマチ特区365



haremach Studio



OHK岡山放送

1階から4階まで4層吹き抜けのパブリックスペース
「未来スクエア」、5階以上のオープントップ部分に第
2のグランドフロア「haremach Garden」を擁する
開放的な空間に356の専門店が集結。最大600席を
誇る可動式客席を備えた「おかやま未来ホール」や
岡山のものづくりを体感できる「ハレマチ特区365」

から地元文化を発信・創造するほか、地元テレビ局の
スタジオ、モール独自のネットTV放送局からさまざ
な情報を館内および地域へ届けます。また進化した
女性用パウダールームなど、これまでの商業施設に
ない試みを随所に採用し、各方面から注目を集めて
います。

★ 地域と連携した取り組み

オープンに先立ち、地元の岡山駅前商店街、
奉還町商店街と「地域振興連携協力に関
する協定」を締結。地域共通コミュニティ
ポイント「ピーチ」を発行するなど、地域の
活性化及び生活環境向上のために、共働
して取り組んでいます。



館内の「ピーチ
ステーション」に
対象のWAON
カードをかざすと、
ポイント(ピーチ)が
たまります。

都市型モールでも地域との融合を大切に

心配されたオープン直後の交通渋滞は、パークアンドライド、
宅配サービス、公共交通機関で来店したお客さまへの特典
提供などの多角的な取り組みが功を奏し、大きな混乱を
招かずにすみしました。ご協力に感謝を申し上げます。地元
商店街とは連携協定を締結するだけでなく、今後はイベント
の開催、情報発信の取り組みなども積極的に
進めたいと考えています。

ゼネラルマネージャー
武田 久和



NEW CONCEPT MALL

イオンモール沖縄ライカム (2015年4月オープン)

日本有数の観光地で、沖縄文化の発信、日本・沖縄発の本格的な
食のエンターテインメントを提供し「アジアNo.1リゾートモール」を
創造してまいります。

ここからこそその沖縄体験で迎える
Okinawa Resort Mall



人々の暮らしと沖縄の感動体験が融合した、これまでにない空間。
癒しと楽しみに溢れた、アジアを代表するリゾートモールをめざしています。

県初出店119店を含む230店舗が集結。60店舗による県最大の食の集積を実現し、吹き
抜けの大空間には大水槽「ライカムアクアリウム」を設置。多彩なイベントを毎昼夜開催する
ほか、観光に関わるサポートも充実した、初の本格的なリゾートモールが誕生しました。



★ 「アライバル感」へのこだわり

お客さまをお迎えする流れを重視し、イオンモールア
ライバル通りは、モール外観と調和する仕様としてい
ます。そして本棟のメイン
エントランスがリゾートに
到着したという高揚感を
演出します。



★ 道路のネーミングライツを取得

北中城村との契約により、モールに接する3路線の村道における5年間の
ネーミングライツを取得。ランドマークとしての役割を強化します。

★ 3市町村との地域協定

当社およびイオン琉球(株)は、北中城村、沖縄市、北谷町
と商工会議所で形成する「ライカム地区地域振興連絡
協議会」と地域振興連携包括協定を締結しました。
観光、文化・芸術の振興、環境活動など、3者の共働に
より連帯活動を推進し、沖縄中部エリアの発展に貢献
してまいります。



新たな沖縄のランドマークへ

沖縄の歴史や文化の勉強から始まり、関係者に
対して、丁寧にコンセプトを説明してきました。
単に沖縄らしさだけでなく、リゾートモールと
してお客さまの記憶に残るモールに仕上げて
います。観光でお越しの方はもちろん、県内
のお客さまにも一日楽しめる場として
ご利用いただきたいと思います。

開発本部 開発統括部
九州沖縄開発部 担当部長
河野 克也



沖縄の多彩な魅力を皆さまへ

平日や雨の日にも楽しい時間が過ごせるよう、
多彩な文化や芸能をご紹介するイベントを
365日開催します。地元の方にも「あそこは
おもしろい」とご支持をいただき、いっそう多く
の観光客の方に沖縄のさまざまな
魅力をご提案したいと考えて
おります。

ゼネラルマネージャー
大田原 隆広



ISO26000に対応する「5つの柱」をベースに、
社会的責任を果たしてまいります。

私たちの仕事は、ショッピングモールを通して、
地域とともに「暮らしの未来」をつくること。

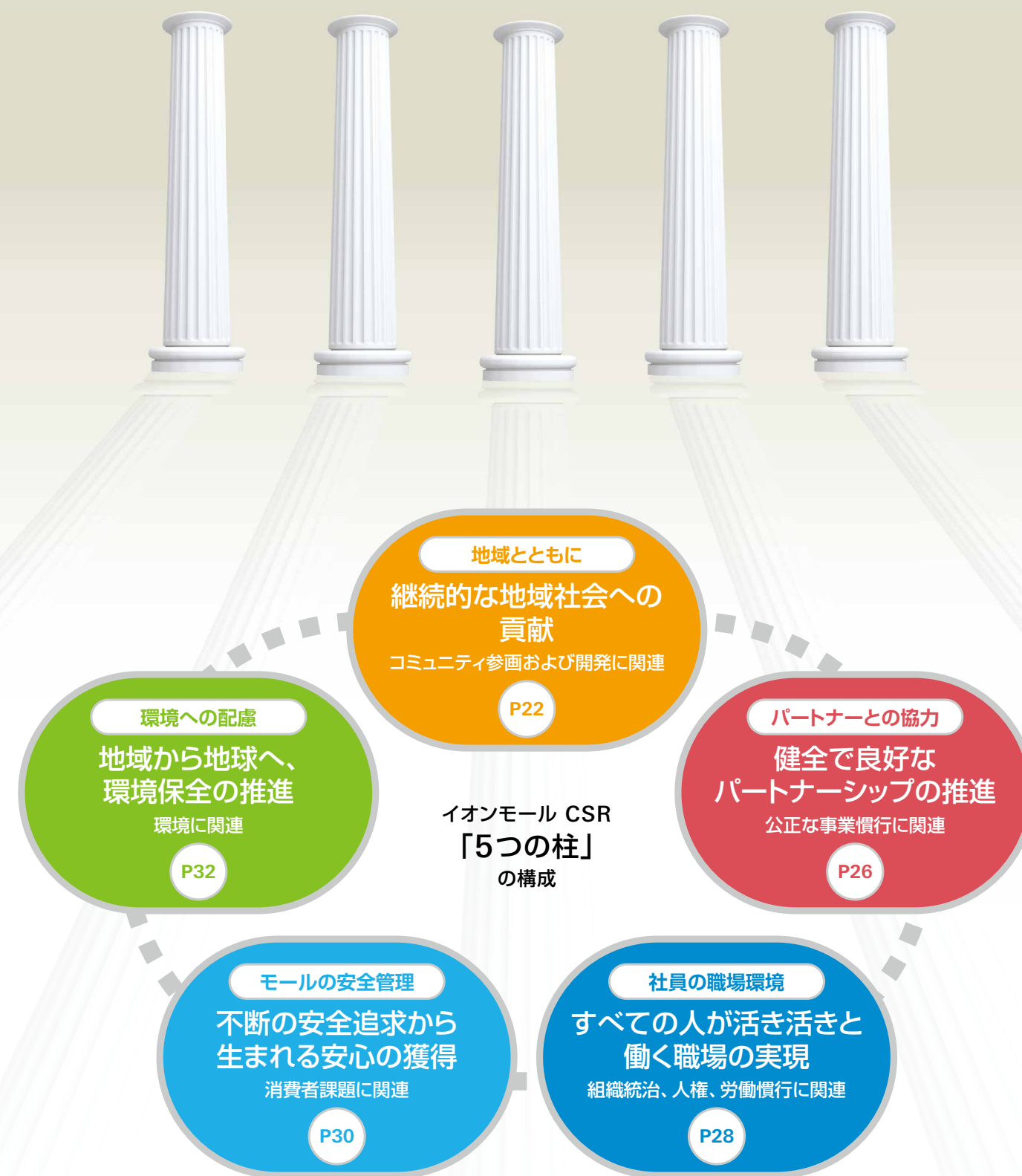
そのためには、地域社会との確かな信頼関係づくり、環境への配慮、
安全性のさらなる向上などに対する継続的な取り組みが必要です。
従って、当社では本来の企業活動とCSRが密接にかかわっており、
あらゆる部署の従業員が日常の業務を通して社会への責任を果たす
ことが求められています。

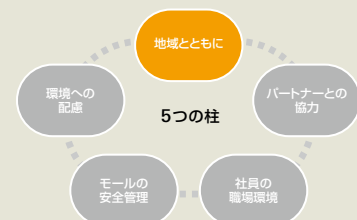
このような考えから、当社では社会的責任に関する初めての国際規格である
ISO26000をふまえて、5つの柱をベースにCSR活動を推し進めています。

ISO26000が定める7つの中核主題

1. 組織統治
2. 人権
3. 労働慣行
4. 環境
5. 公正な事業慣行
6. 消費者課題
7. コミュニティ参画および開発

★ CSR推進体制図





地域とともに

継続的な地域社会への貢献

私たちは人々が求める真の貢献を実現するために、その地域に密着し、交流を深めることで問題を共有し、その解決に努めます。

★「心をつなぐプロジェクト」に参加して

2012年3月にイオンがグループを挙げてスタートした「心をつなぐプロジェクト」。その一環として東日本大震災の被災地におけるボランティア活動に参加した従業員が集まって座談会を行いました。

自分を見直すきっかけに

2014年9月に初めてボランティアに参加し、福島県南相馬市に行ってきました。家が残されているのに誰もいない区域の空気感は、テレビの画面では伝わらない恐ろしいものでした。苦勞して生活している方を目の当たりにして、職場に帰ってからも「まだ自分にはやるべきことがたくさんある」と考えるようになりました。

営業統括部 北関東・新潟事業部
営業サポートグループ
佐々木 渉



役に立っているという実感

帰還困難区域でも花壇が整備されていて、住民の方が帰る日を待っていることが切実に伝わってきました。現地の方にはとても温かく接していただき、いろいろな意見交換もできました。人のために、自分のためにも役に立っていると実感できるからこそ、これだけ多くの方が参加しているのだと思いました。

人事統括部 人事部
小泉 基之



さまざまな人と心をひとつに

本社勤務になったのをきっかけに妻と参加しました。南相馬を訪れ、またみんなが安心して住めるようなまちにすることが会社としての使命でもあると思いました。各社から集まったさまざまな方とコミュニケーションしながらビニールハウスの解体をして、一体感や団結力を実感できたのもよかったです。

管理本部 システム部
三宅 悠太



自分の目で見える大切さ

震災当時は救援物資の調達係を務め、いちど自分の目で現地を見たいと思っていたんです。現地の方はどこまでも明るく前向きで、人間はここまで強くなれるのかと心を打たれました。社会人になりたての息子を連れていきましたが、彼も感じる場所があったようで、それを機にいろいろ話をする



ようになりました。特に若い人は何事も自分で体験することが大切だと思います。必ず得るものがありますから。

経営監査部長
宮島 幸雄

楽しんで支援する気持ち

これまでボランティアに5回参加しました。被災地への支援はディベロッパーや小売業にとって究極のミッションと言えるのではないのでしょうか。なにも自分を犠牲にする必要はないんです。経験値や視野を広げ、好奇心を満たすために行けばいい。普段はなかなか会えない他社のみなさんとも交流できて、現地でいただく魚もお酒もおいしい。私はあえて、ボランティアって楽しいよと言いたいですね。

開発本部 不動産管理部
一色 明仁



小野駅前郷プロジェクト「おのくん」

全国のイオンモールを通して大きな支援をいただいています。

震災後の東松島市へ多くの方に訪れていただきたい。そんな願いを込めて小野駅前応急仮設住宅でお母さんたちが作るソックモンキー「おのくん」は、おかげさまで全国に支援の輪が広がり、今では毎週末に1日100人以上の方が仮設住宅を訪れています。全国のイオンモールに「おのくん」の制作に必要な靴下と綿の回収ボックスを常設していただき、毎月約1,000体分の材料が届いています。しかしこの仮設住宅も解体や縮小が進んでいるため、これまでの活動を継続するための新たな拠点として「空の駅」の建設をめざしており、こちらも全国のイオンモールで募金にご協力いただきました。

「おのくん」も「空の駅」も、多くの方に来てもらうことを目的としたプロジェクトです。新たな賑わいをつくり、若い人に安定して働ける場を提供したいですね。ぜひ東松島市にお立ち寄りください。



宮城県東松島市
小野駅前郷プロジェクト
共同代表 武田 文子様
新城 隼様



「復興」から「創成」へ。新しいまちづくりの支援を続けています。

震災後にイオン東北代表の任を預かり、被災地でさまざまなお手伝いをさせていただいています。4年が過ぎ、徐々にインフラも整備されてきましたが、地域のために頑張ろうと思ってくれる若い人たちが働く場所が足りないのが現実です。2014年3月にオープンしたイオンタウン釜石では、約700人の雇用を生み出して感謝の声をいただきました。雇用の重要性を再確認するとともに、まちをかつての姿に近づける「復興」から、新しい人たちが主役となり、自分たち

で考えて新しいまちをつくる「創成」への移行が進んでいると感じました。豊かな水産業をはじめ、地域のさまざまな事業に対して第3次産業の立場から新しいつながりをつくるお手伝いをしています。

イオン株式会社 顧問 イオン東北代表
イオンモール株式会社 取締役会長
村上 教行



★ 出店による地域経済の活性化

新しいモールのオープンには地域に数千人単位の安定した雇用を創出し、税収や人口の増加にもつながります。専門店も全体の約3分の1は地域からの出店になるよう配慮するほか、多くの仕事が地元企業に発注されるなど、広範囲に効果を及ぼします。

★ 地域の美しい環境を未来へ

「クリーン&グリーン」活動の一環として、毎月イオン・デーには、専門店従業員の皆さまとともに、モール周辺の歩道や公園、植樹帯などの清掃活動を行っています。



★ 公的サービスの拡充

郵便局、医療機関、自治体の行政機関、銀行、外貨両替機などのサービスを導入するほか、イオンホールを成人式や確定申告の会場、選挙の投票所などにご活用いただいています。



★ 2014年度 募金活動結果 (全国のイオンモール合計)

障がい者支援募金(2014年2月20日～2014年3月11日)	2,286,060円
イオン・エッセイ・ウォーターキャンペーン募金(2014年4月5日～2014年6月8日)	5,156,619円
24時間テレビ チャリティデー募金(2014年6月20日～2014年9月7日)	33,252,461円
広島土砂災害緊急支援募金(2014年8月26日～2014年10月31日)	7,222,006円
ミャンマー学校建設支援募金(2014年9月13日～2014年11月16日)	6,303,534円
合計	54,220,680円

社会貢献の拠点として多くのお客さまに募金活動にご協力をいただきました。



地域とともに

継続的な地域社会への貢献

「里親相談会」の開催支援

イオンモール寝屋川では、2014年から大阪里親連合会中央支部、大阪府中央子ども家庭センターが主催する「里親相談会」を開催しています。保護者と暮らせず、社会的な養育が必要な子どもたちを家庭に迎え入れるきっかけづくりとして成果を上げています。



保護者がいない、あるいは虐待などによって施設で暮らす子どもたちを、より家庭に近いところで育てるために、大阪府でも里親になっていただく方を募集しています。休日にご夫婦揃って気軽に話を聞ける場があればと考え、イオンモール寝屋川にご協力をお願いしました。初めて開催した日には11組の方が相談に訪れ、それをきっかけに研修や実習を経て実際に里親の登録を済ませた方もいらっしゃいます。

大阪府
中央子ども家庭センター
渡邊 弘子様



大阪では特に里親に登録する方が不足しています。「関心はあるが責任が重くて踏み切れない」とおっしゃる方も多いのですが、さまざまな専門機関が子育てをサポートしますし、養子として育てる里親だけでなく、一定期間ご家庭で育てる「はぐくみホーム*（養育里親）」、週末や夏休みだけ家庭で過ごす「週末里親」など、さまざまな関わり方があります。ぜひお気軽に相談にいらしてください。

*大阪府が公募し2015年に決定した愛称。

社会福祉法人 公徳会
里親支援専門相談員
吉川 昭代様



養子里親になったお母さまの声

不妊治療をあきらめて数年後、市の広報で募集を見たのをきっかけに主人と相談して生後6ヶ月の男の子を迎えました。養子であることは幼稚園の頃から折にふれて本人に伝えており、やがてお互い気になることもなくなりま

したね。両親や周囲も思っていたより自然に受け入れてくれました。反抗期の苦労はありましたが、それは実子でも養子でも同じこと。どんな経験も子どもがいてくれたからこそだと思っています。

イオンモールは地域のコミュニティセンターとしての役割も果たすべきだと考えていますので、何らかのかたちでお役に立てればと2015年も継続して開催していただきました。里親を待つお子さんがたくさんいることや里親制度について多くの方に知っていただけるよう、チラシでの告知や館内放送でもご協力をしています。ぜひお気軽にご参加いただければと思います。

イオンモール寝屋川 ゼネラルマネージャー
鷹城 直人



各地での地域貢献事例

1 イオンモール銚子

第35回 銚子ひびき連合会 大盆踊り大会

銚子の伝統ある夏の風物詩を、2011年よりイオンモール銚子の駐車場に会場を移して実施しています。2日間で約1,500名にご来場いただき、館内専門店による出張販売なども行いました。



2 イオンモール甲府昭和

第33回 イオンモール杯 山梨県ジュニア水泳競技大会

子どもたちを応援する地域貢献のひとつとして、県内のジュニアスイマー約550名が参加する大会のメインスポンサーとして運営に協力しています。モール館内で大会の写真展も開催しました。



3 イオンモール広島祇園

広島土砂災害の被災者を支援する 子どもの心のケア研修会

2014年8月に県内で発生した土砂災害に対する支援の一環として、子どもの心のケアについての研修会をイオンホールで実施。約100名にご参加いただきました。



4 イオンモール日の出

専用シミュレーターを利用した 自転車の安全運転講習

お子さまやシニアの方の自転車事故増加に伴って、専用のシミュレーターを使って危険予測力を高める安全運転講習を実施しました。
(協力：東京都・日の出町)



国連UNHCR協会の難民支援活動をサポート

活動の場を提供していただき、
多くのお客さまからご支援をいただいています。



国連の難民支援機関であるUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は、紛争や迫害により故郷を追われた人々を国際的に保護・支援する活動を行っています。国連UNHCR協会はUNHCRの公式支援窓口として、広報、募金活動を担っており、広く民間からの支援を求めています。イオングループならびにイオンモール株式会社様には2010年から本格的なご支援をいただいています。館内の一角を無償でご提供いただき、お客さまと直接顔を合わせて難民問題についてお話しし、ご負担のない範囲で毎月の継続的な支援へのご協力を呼びかけています。陸続きの国境がない日本ではなかなか身近に捉えにくい問題ですが、多くの方が足を止めて耳を傾けてくださり、

2014年は全国のイオンモールで2,280名のお客さまからご支援をいただくことができました。中には、イオンモールでやっているから安心して協力できるとか、お子さんといっしょに話を聞きたいと言ってくださる方もいらっしゃいます。まずは多くの方に関心を寄せていただくことが大事なので、たくさんのお客さまにお会いできる場をご提供いただけるのは本当にありがたいことです。これからもより多くのモールで定期的な活動をさせていただければと考えております。





パートナーとの協力

健全で良好なパートナーシップの推進

私たちはこれからもパートナーと一緒に、普遍的倫理に基づき、さまざまな国の商習慣に配慮しつつ健全で一層強固な協力関係を築きます。

従業員のための快適な職場環境の推進

当社にとって、すべてのパートナー企業さまは成長を支え合う原動力です。専門店で働く従業員の皆さまが気持ちよく働いていただけるよう、快適な職場環境の提供に努めています。各モールには従業員の皆さまからの質問や意見、提案を募るボックスを設けており、意見や提案にはゼネラルマネージャーが回答し、モールの運営に反映するよう努めています。

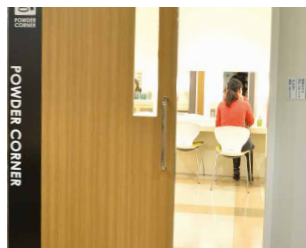


従業員用休憩スペース



コンビニエンスストア

また、モールで働くすべての方に快適な職場環境をご提供するために、十分な広さの休憩スペースを設けるほか、従業員専用のコンビニエンスストアやパウダールームなどを設置するモールも順次増やしています。また販売促進用のポスターやPOPを簡単に制作・印刷できるメディアステーションを設け、モールで働く皆さまをサポートする環境を整えています。



パウダールーム



救護室

専門店へのサポート活動

イオングループ各社の商業施設に出店契約を結んだ約8,000社、28,000店で、「イオン同友店会」を構成しています。これは、「商業を通じて地域社会に奉仕する」という企業理念に基づき、その志を一つにする友が「同じ思考」・「同じ行動」の精神で、お互いの事業において、共に成果をあげることをめざすパートナーを会員とした団体です。会員が連携・協力することで規模の相乗効果により、人材育成や従業員満足を通じた収益拡大や、地域貢献活動の推進などを効果的に行うことを目的としています。

現在は当社に同友店統括部を設け、全国7つの地区で構成さ



販売をサポートするさまざまな情報やコラムを掲載したイオン同友店会会員専用のホームページを運営

れる事務局のもと、同友店会総会の開催、人材育成活動、機関誌の発行・ホームページ運営などの広報活動、社会貢献活動、町おこし・地域文化の振興、災害支援活動など多岐にわたる活動に取り組んでいます。

また、2014年度には新たに「パートナーシップ・プロジェクト」を設立しました。本部主導での複数モールにわたる営業面での取り組みや、イオンモール限定商品の販売活動、ワークショップ、フェア、コラボレーションなどの集客施策など、当社と専門店の皆さまがお互いにとってさらなる利益となることをめざしています。



イオン同友店会の機関誌を発行し、全国の同友店に配布しています。

コンテストを通じた教育事業

ロールプレイングコンテスト

2014年11月6日、イオン同友店会の主催で「第4回イオン同友店ロールプレイングコンテスト全国大会」を開催しました。約28,000店の同友店会を代表する従業員が接客技術を競う、国内最大規模のロールプレイングコンテストです。

【受賞者一覧】

最優秀賞	村上 妙さん [ピンクアドベ] イオンタウン有松
物販部門	第1位 福田 麻代さん [AMO'S STYLE] イオンモール宮崎
	第2位 住吉 宏章さん [GRAN SAC'S] イオンモール四日市北
食品・飲食・サービス部門	第1位 増山 千佳子さん [マクドナルド] イオン東長崎ショッピングセンター
	第2位 渡部 寛恵さん [お茶の井ヶ田 喜久水庵] イオンモール石巻
審査員特別賞	尾崎 友美さん [SCOT CLUB] イオンモール新居浜
	近藤 真由美さん [Pep-pits] イオンモール札幌発寒

敢闘賞

椎野雅貴さん[RAGEBLUE]イオンモール水戸内原/植野春奈さん[FLASH REPORT]神戸ハーバーランド umie/渡部祐子さん[アナヒータストーンズ]イオンモール大和/中村美紀さん[ロッテリア]イオンモール東浦/五十嵐玲さん[E hyphen world gallery pd]イオンモール川口前川/栗原美希さん[e.r.g*]イオンモール高崎/伊藤美保さん[イヤタカウェディングラウンジ]イオンモール秋田/久堀優香さん[earth music&ecology Super Premium Store]mozoワンダーシティ/山本典子さん[ローリーズファーム]イオンモール高知/春山優喜さん[THE SHOP TK MIXPICE]イオンモール宮崎/瓜生真依子さん[THE BODY SHOP]イオンモールりんくう泉南【ほか11名様】

当コンテストには、アパレルだけでなく飲食やサービスなど幅広い業種からご参加いただきますので、競技方法や審査のポイントも慎重に検討を重ねています。イオングループの理念を反映し、洗練された接客技術だけでなく、親しみやすさや居心地のよさ、お客さまへの寄り添い方に秀でた方が上位入賞を果たしています。コンテストの様子はDVDにして全国の店舗にお送りしており、同友店会全体でノウハウを共有できるようにしています。

同友店統括部長
場 伸介

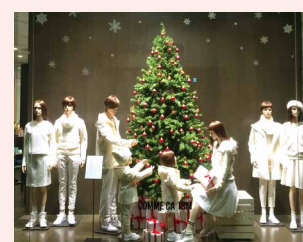


VPコンテスト

より魅力的な売場づくりを実践するためにVP(ビジュアル・プレゼンテーション)のコンテストも行っています。＜POP部門＞と＜ディスプレイ部門＞に分けて、全国の店舗から写真で応募をいただいています。VPのエキスパートによる審査を経て決定した受賞店舗の写真は、講評や解説を加えて全同友店会に冊子やホームページで共有し、各店の売場づくりに役立てていただいています。



2014年度 POP部門 大賞
農家のお店 いなほ新潟
イオンモール川口



2014年度 ディスプレイ部門 大賞
コムサイズム
イオンモール広島府中



社員の職場環境

すべての人が生き生きと働く職場の実現

私たちは人権を尊重し、性別や国籍に関わりなく企業の発展に参画できる組織、またすべての従業員の能力が最大限に発揮できる職場を実現します。

★ 多様な人材が活躍できる企業として

一人ひとりの従業員が能力を最大限に発揮するために。

企業が成長するうえで、一人ひとりが能力を十分に発揮するための人材育成は不可欠です。拠点数と従業員数の急激な拡大を背景に、2013年4月、人事統括部の組織下に社員教育や研修の専門部署である教育部を新設しました。お客さま第一の企業理念のもと、戦略を練って営業やオペレーションを担当できる人材の育成に取り組んでいます。

採用教育に関しては、入社後にイオングループ合同の研修に続いて自社のオリエンテーションを約10日間実施しています。各部署のエキスパートである社員が講師となってモールビジネスの基本を教えるとともに、企業理念に象徴される価値観を共有して配属先のモールへ送り出します。そして半年後にはまた全員を集め、2日間のフォローアップセミナーを実施します。

マネジメントという周囲を自分に従わせなければと考える

方もいますが、専門店をはじめとするパートナーさまとは同じ志をもって、力を合わせて地域のお客さまのために活動するのが大前提です。つねに相手の立場を尊重し、謙虚な姿勢で接するとともに、もっと小売についても勉強をする必要があると感じています。

もちろん、社員の成長は教育部のプログラムだけで達成されるものではありません。各自が日々の業務を通じて力を最大限に高められるよう、今後は集合研修などのOff-JT、職場でのOJT、自己啓発の3点をリンクさせ、上司の関わりや指導も強化して、入社から5年で信頼されるマネージャーに育成する体制を整えたいと考えています。

ここ数年は新卒の新入社員も女性が増えて、優秀な人材が多数います。一定以上の資格になると圧倒的に男性の比率が高いのが当社の現状ですが、彼女たちが着実に成功体験を積み重ねて自身の将来像が描ける環境も用意していきたいですね。

人事統括部 教育部長
長谷川 文香



★ グループ他社から出向する社員へのヒアリング

当社のショッピングモールにはイオングループ各社から出向して運営・管理にあたる社員がいます。近畿地区のモールに勤務する6名の社員に話を聞いてみました。



出向してイオンモールで勤務を始めた頃の感想としては「職場が明るい」「社員が若い」「フレックス社員が優秀」という声が目立ち、一方で、明確な業務分掌が見当たらず、自身の責任範囲が分かりにくかったという指摘もありました。共通して評価が高かったのは、ゼネラルマネージャーの決裁範囲も含めて各モールの裁量が大きく、や

りたいことにチャレンジできる環境があること、また年代を問わずチャンスが与えられているという点でした。小売の経験が豊富な社員からは、ディベロッパーとしての知識や技能が大切なのはもちろんのこと、専門店やお客さまの信頼を勝ち取るためには小売に関する勉強もした方が望ましいという意見がありました。

【出席者】イオンリテール(株)から出向：鷹城 直人／外丸 英男／下江 仁人 (株)ダイエーから出向：田中 和夫／持田 孝太／広瀬 智哉



★ 組織の拡大と多様化

● 社員データ (2015年2月末現在)		
	2013年度	2014年度
社員数 (うち臨時雇用)	2,876名 (1,187名)	3,334名 (1,310名)
新入社員数 (男性/女性)	82名 (45名/37名)	82名 (34名/48名)
障がい者雇用数	19名	27名 (0.8%)
育児休暇取得者数 (うち男性)	16名 (1名)	18名 (1名)

★ 人材のグローバル化

海外で展開するショッピングモールについては、将来的に現地の人材が責任者となって、各国の言語や慣習に基づいて当社の理念を地域に根づかせることを方針としています。2015年度は1名の外国籍社員を新卒で採用したほか、中国およびアセアンに設立された現地法人やモールでは約570名のローカルスタッフがイオングループの一員として活躍しており、日本国内のモールで短期研修を行うなど人的交流も盛ん

になっています。国籍も経歴もさまざまな人材がイオンモールとしての共通の価値観のもと、一体となって力を発揮する企業をめざします。

★ 子育て支援

社員が仕事と家庭での役割を両立できるよう、当社ではさまざまな取り組みを進めています。子育て支援については、次世代育成支援対策推進法に基づいた行動計画を策定し、厚生労働省より子育てサポート次世代認定マーク「くるみん」を取得しています。

妊娠から子育てまで、必要な知識や手続きを独自のガイドブックにまとめ、申請書類も分かりやすく統一。これらの取り組みにより、千葉県労働局から次世代育成の認定事業主に認定されました。



介護と仕事の両立

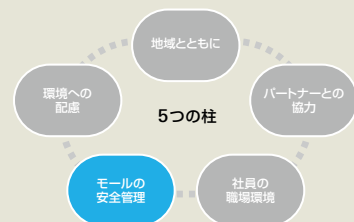
社員の働きやすさを考えるうえで、ますます重視されているのが家族の介護と仕事の両立の問題です。労働組合が実施したアンケートでは全社員の6.2%が何らかのかたちで介護に携わっていると回答しました。いつまで続くかわからない介護生活は身体的にも経済的にも負担が重く、キャリアとの両立が難しいという声も寄せられています。そこで、介護休職勤務が利用可能な期間を申請から2年間までと定めた休職規定の見直しなどについて労使で話し合いを行っています。

★ イオンモール労働組合 大きな変革の中で、確かなつながりを。

イオンリテール(株)のモール型物件の運営・管理を受託したことで、まずは約700名のフレックス社員をお迎えしました。近くにあっても交流の少なかった両社のモールが組合活動を通してつながり、困ったときに相談できるような関係になれば会社全体のレベルアップにも貢献することになります。イオンモールの従業員としての心構えや価値観を再確認しつつ、さまざまな立場の従業員が長く働ける会社になりたいと思います。

イオンモール労働組合 中央執行委員長
石山 修





モールの安全管理

不断の安全追求から生まれる安心の獲得

私たちは関わりのあるすべての人たちに対して、さまざまな安全を提供し、どんなときも安心の評価をいただけるまちづくりを推進します。

★ 多角的なモール強化の取り組み

2015年3月15日、当社は「第1回ジャパン・レジリエンス・アワード2015」において、一般社団法人レジリエンスジャパン協議会*より優秀賞に選出されました。全国各地で展開されている強靱化に関する先進的な活動を表彰するもので、強くしてしなやかな国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに関わる企業・団体から選出されたものです。当社は、次世代対応型「防災対応型スマートイオン」を、環境への配慮だけでなく、エネルギーの効率的な利用や防災対応など、より

便利で安全な次世代の店舗づくりを進めています。平時のエネルギー有効活用はもちろん、有事に地域の防災拠点の役割を担うと同時にライフラインの役割を維持できるよう、耐震性や復興拠点としての機能を中心に強化を進めています。



*「国土強靱化基本計画」が円滑に達成されるよう、産、学、官、民のオールジャンルでその叡智を結集し、非常時のみならず平時での戦略的活用の方策を創造することにより、公共投資、民間投資が最大限に相乗効果を発揮し、レジリエンス立国を構築していくことを目的として設立されました。

● 評価された複合的な取り組みの概要

1	非常用電源の確保	耐震性の高い中圧ガス管からガス供給されるエネルギー効率の高いコジェネの採用
2	飲料水の確保	受水槽の耐震・耐久化、仮設給水口設置による受水槽水利用
3	耐震性の強化	天井を膜天井やスケルトン化することによる落下物の軽減、設備機器などの耐震性能強化
4	包括的連携協定・防災協定	全国1道2府41県と10の政令都市を含む、約600の自治体と協定を締結
5	自衛隊との物資協定	陸上自衛隊と災害時における物資の供給要請に関する協定を締結
6	NHKやFM東京との防災連携	防災連携に関する協定などの締結
7	防災訓練	グループ総合地震防災訓練を年2回実施。各モール単位でも防災訓練を定期的に実施
8	植樹活動	店舗のまわりを「イオン ふるさとの森」で囲うことで、有事の際は延焼を防ぐ防火壁、津波の威力を軽減させる防潮堤として機能
9	BCMS	経産省事業継続マネジメントシステム(BCMS)のモデル事業に参加

★ 進化するユニバーサルデザイン

「第8回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」を受賞

2005年から他の商業施設に先駆けて本格的なユニバーサルデザインを導入した当社は、「イオンモール・ユニバーサルデザイン・ガイドライン」を独自に作成し、各モールに展開しています。定期的にアンケートを実施して新規のモールに反映するなど、継続的な取り組みが評価されて表彰されました。これからもハンディキャップをお持ちの方、妊娠されている方、外国人の方など、ご来店されるすべてのお客さまに安心して快適にお過ごしいただけるよう努めてまいります。



テーマが異なる4つのモールで構成されるイオンモール幕張新都心では、棟別に定めたカラーでサインを統一。エレベーター内には通常より大きなボタンを採用しています。



どこからでも話しかけやすいインフォメーションカウンター。タッチパネル式の館内案内やデジタルサイネージも館内各所に設置しています。



館内には車椅子やベビーカーを配備しています。また、介助が必要なお客さまのために、モール中央入口にインターフォンを設置しています。



広く多機能な「優先トイレ」、お子さま専用設計された「キッズトイレ」、オストメイト対応トイレなどが揃っています。



お体の不自由な方専用駐車場は登録制とし、必要とされる方が確実に利用できる環境を整えています。



イオンモール京都桂川

★ 防災協定の締結

国内のモールの大半が、防災活動への協力などに関する協定書を地方行政と締結しています。2014年にオープンしたイオンモール名古屋茶屋では主要設備を津波の想定水位より高い位置に設置し、2階より上階に約31,000人が一時避難可能なスペースを確保。名古屋市より「津波避難ビル」の指定を受けています。



イオンモール名古屋茶屋

★ 防災訓練

万一の災害時にお客さまの安全を確保するために、専門店のスタッフも参加して避難誘導や消火活動などの防災訓練を定期的に行っています。モールによっては飲料水、簡易トイレ、緊急避難用の大型テント「バルーンシェルトター」などを備え、迅速に地域の防災拠点として機能します。



バルーンシェルトター

★ 耐震性能の強化

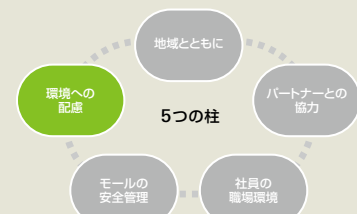
東日本大震災後にオープンしたモールでは、天井の主要箇所において耐震性能をより高めた工法を採用し、メイン通路の天井を膜天井やスケルトン化しています。受水槽も東日本大震災と同規模の地震を想定した耐震性・耐久性を備えています。



★ 被災時の復興拠点としての機能確保

モールによっては大規模な停電が発生した際にガスインフラを利用した自家発電設備を稼働し、セキュリティシステムや主要な管理諸室へ電源供給を行います。また受水槽に非常用の仮設給水口を取り付けたモールでは、断水・停電時にも数百トン単位の飲料水を供給することが可能です。





環境への配慮

地域から地球へ、環境保全の推進

私たちは環境負荷を最小限に抑える最新の技術を導入し、地域の生態系を守る仕組みをつくり、省エネや廃棄物管理の徹底をすることで、自然と調和したまちづくりを推進します。



イオンモール多摩平の森

★ 4モールが建築物環境性能評価で認証を取得

2013年にオープンしたイオンモール幕張新都心は、4つの商業棟全てが国際的な建築物の環境性能評価システム「LEED認証」*1を取得しました。次世代型環境配慮型ストア「スマートイオン」の実現のため、最新鋭のLED照明設備や再生可能エネルギー発電システムの導入、節水型衛生機器および厨房除害設備の導入など、先進的な設備や仕組みが評価されました。また、既存モールにおいても継続して環境性能の向上に努めており、2006年にオープンしたイオンモールむさし村山とイオンモール鶴見緑地が国内で最も知られる環境性能評価「CASBEE不動産評価認証」*2の最上位Sランクを、2002年オープンのイオンモール伊丹がAランクを、それぞれ建物オーナーの日本リテールファンド投資法人と共同取得しました。

*1 1996年に開発された建築物などの環境性能評価において世界で最も普及しているシステムで、米国グリーンビルディング協会(USGBC)が所管している任意の認証制度。建築物全体の企画・設計から建築施工、運営・メンテナンスにわたって、省エネ、環境負荷を7つの評価項目の合計項目によって評価します。

*2 建築物の環境性能を評価し格付けするもので、省エネルギーや省資源、リサイクル性能など環境負荷低減の側面に加え、景観への配慮などを含めた建築物の環境性能を総合的に評価する日本で一番認知されているシステムです。

LEEDゴールドランク



イオンモール幕張新都心

CASBEE不動産 評価認証Sランク



イオンモールむさし村山
イオンモール鶴見緑地



CASBEE不動産 評価認証Aランク



イオンモール伊丹

★ イオンモール多摩平の森が、2例目の「いきもの共生事業所®」に

2013年にオープンしたイオンモール東員に続き、2014年11月にオープンしたイオンモール多摩平の森が「いきもの共生事業所®」認証を受けました。「一般社団法人 企業と生物多様性イニシアチブ(JBIB)」が作成・登録した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づき、生物多様性に配慮した緑地づくりなどの取り組みを「いきもの共生事業推進協議会」が第三者的に評価・認証するものです。

同モールは計画地にあった約50本の樹木を移植や保存することで緑地帯として整備し、4階屋上にはビオトープ「丘の原っぱ」を導入。雨水を浸透・浄化することができる「雨の庭」の設置や敷地内の雨水を全て地中に浸透させるなど、さまざまな取り組みが総合的に評価されました。



既存樹木を保存し「多摩平の森」の面影を残した歩行空間



計画地の既存樹木を活用してできた「木漏れ日の広場」



環境学習や環境保護啓発にも役立つビオトープ「丘の原っぱ」

★ イオンモール蘇州呉中が、環境評価基準制度「緑色二星」を取得

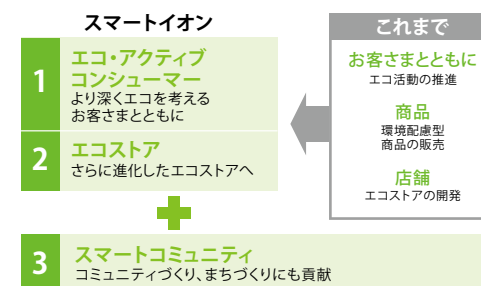
2014年にオープンしたイオンモール蘇州呉中は、周辺エリア全体が「イオングリーンアイランド」という景観都市のモデルとして開発されました。また太陽光パネルやLED照明、壁面緑化などを採用し、中国イオングループとして初めて、中国建設省が認証する建物の環境評価基準制度「緑色二星」*3を取得しました。

*3 地球環境の保護、地球資源の最大限の有効活用、環境汚染の防止などを目的とした、中国の建設省が認証する建物の環境評価基準制度。



★ スマートイオンの展開

スマートイオンとはエネルギーの効率化や防災などにまちぐるみで対応する次世代型エコストアを指し、環境目標「イオンのエコプロジェクト」が定める基準を満たす持続可能なまちづくりです。イオンモール幕張新都心は、スマートコミュニティの実現、自然エネルギーの最大活用、分散化電源による事業継続計画(BCP)拠点化などに取り組んでいます。



★ EV(電気自動車)充電器の設置拡大

地球環境の保全、持続可能な社会の実現をめざし、CO₂を排出しない電気自動車やプラグインハイブリッド車の普及を推進するため、各モールにEV(電気自動車)充電器の設置を進め、多くのお客さまにご利用いただいています。



★ イオン ふるさとの森づくり

1991年にマレーシアでスタートした「イオン ふるさとの森づくり」。新しいモールがオープンする際には、地域の自然環境に最も適した、その土地に自生する樹木をお客さまとともに植えています。2015年2月末現在、累計植樹本数は約1,087万本(グループ合計)です。



★ 自然の力を利用した取り組み

太陽光発電

イオンモールでは他の商業施設に先駆けて太陽光発電システムを順次導入し、館内の使用電力の一部をまかなっています。一部のモールでは、災害などによる停電時にも太陽光パネルで発電した電力を活用できるシステムを採用しています。



壁面緑化／植栽

モール壁面の緑化は景観を向上するだけでなく、夏季の館内における温度上昇を抑制し、冷房で使用するエネルギーの削減につながります。イオンモール岡山では、5階から7階までのオープントップ部分にステップガーデンを配した「haremach Garden」を展開。壁面緑化も採り入れた緑豊かな憩いの空間を演出しています。



★ 公共交通機関の利用促進

イオンモールでは、電車や路線バスなど公共交通機関で来店いただける環境を整えています。特に駅から徒歩圏内のモールでは、鉄道会社や交通局と連携して電車でご来店されたお客さまに特典を提供するなど、公共交通機関を利用しやすい環境づくりを進めています。また、通勤などの際にモールの駐車場に自家用車を駐車し、そこから公共交通機関で最寄駅や中心街へ移動していただく「パーク&ライド」を実施し、交通渋滞の緩和や大気汚染の低減を図っています。





環境への配慮

地域から地球へ、環境保全の推進

水質保全

排水基準を順守するためにすべての飲食店で毎日の厨房グリストラップ清掃を義務づけ、油やごみの流出防止に努めています。そのうえで、店内の厨房から油が流出する事故が発生した場合に外部への拡散を防止するための訓練を定期的実施しています。また、一部のモールでは排水を浄化するためにバクテリア分解を利用しています。培養液によりバクテリアを増殖させ、そのバクテリアが体内にリンや窒素を取り込むことによって、油分などを分解して水質を浄化します。



グリストラップ清掃

ごみ庫に設けられた防油堤

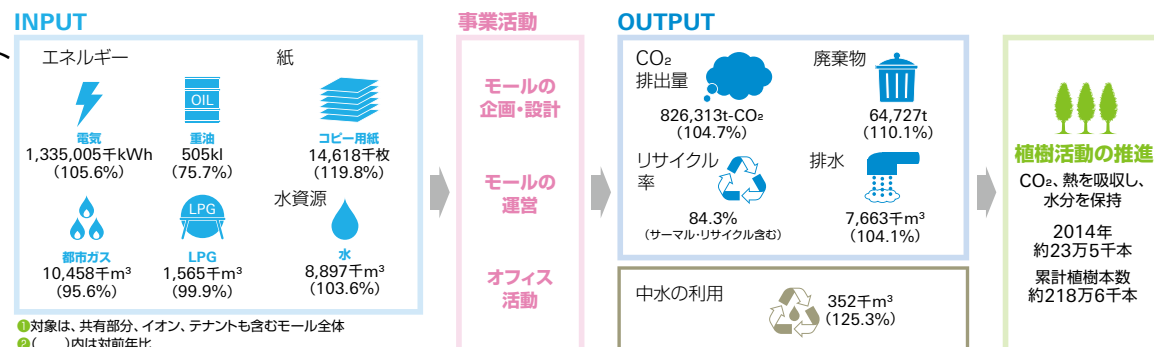


流出を防止する専用の油吸収剤を常備

節電対応

各モールでは四半期ごとに電力使用量の目標値を定めており、お客さまの安全や快適さに影響を及ぼさない範囲で日常的な節電に努めています。具体的には、社内の照度基準を確保した上での照明の間引き、お客さまの少ない時間帯における駐車場の一部エリア閉鎖や一部エレベーターの運転停止、エスカレーターの人感センサー導入、きめ細かい館内の空調管理などが挙げられます。

●2014年度 インプット/アウトプット (国内67モール)



省エネルギーの取り組み

LED照明

各モールの館内照明については、従来の蛍光灯や白熱電球から、より省電力かつ長寿命なLEDへの切り替えを進めています。近年にオープンしたモールでは共用部のLED採用率100%を達成。専門店にも新規モールオープン時や既存店リニューアル時にLEDの採用を呼びかけており、光の色や明るさが選べるようになってきたこともあって着実に切り替えが進んでいます。また、屋外の電飾サインにも消費電力の少ないLED光源ユニットを採用しています。



氷蓄熱システム

氷蓄熱システムは、最も電力消費の激しい夏季の昼間に使用する電力を抑制し、1日を通した消費電力を平準化します。電力負荷の少ない夜間の電気を利用して蓄熱槽に氷を蓄え、その熱エネルギーを営業時間の冷房に活用しています。



空調冷水カスケードシステム

当社が開発した「空調冷水カスケードシステム」は、複数の空調機をカスケード(連なった)配置とし、夏季の冷水搬送動力の低減ときめ細かな空調負荷対応を実現しました。冬季は館内の人体発熱や照明発熱を冷水で熱吸収させ、外気を温めて送風に利用。一般的なシステムと比較して約50%のエネルギー削減を可能にし、CO₂排出量削減に貢献します。

廃棄物削減とリサイクル

モールから出る廃棄物の削減では、専門店で協力をいただいて、「何を、どこで、どれだけ廃棄しているか」を明らかにし、課題として意識づけることが重要です。各モールでは、廃棄物を基本17品目分別したうえで品目ごとに計量するシステムを導入しています。

専門店は各品目を計量した後、計量済みのシールを貼り、品目ごとの保管場所にまとめて廃棄します。分別されたごみのうち、可能なものについては極力リサイクルに回し、各品目ごとにリサイクル率を集計しています。2014年度のリサイクル率は84.3%でした。



分類を分かりやすく記したごみ庫。空調を備えて悪臭や害虫の発生を抑えています。



廃棄物は品目別に集計して計量。どの専門店がどれだけの廃棄物を出しているかをデータで把握しています。

環境コミュニケーション

各モールの環境負荷低減は当社の従業員だけで進められるものではなく、専門店やお客さまのご理解・ご協力が必要です。専門店のスタッフには小冊子の配布やバックヤードの掲示物などご協力をお願いしています。また館内ではエコインフォメーションやエコベンチを通して各モールの環境に対する取り組みをご紹介しますとともに、エコバッグの持参やリサイクルへのご協力を呼びかけています。



エコインフォメーションでは太陽光発電システムの稼働状況などをご確認いただけます。



館内のごみ箱も4品目程度に分類。お客さまにも分別へのご協力をお願いしています。

●2014年度の廃棄物排出総量とリサイクル率

	廃棄物排出総量	リサイクル率
1 生ごみ	13,894t	88.3%
2 段ボール	17,995t	100.0%
3 雑芥	18,178t	58.5%
4 廃プラスチック	2,675t	99.0%
5 ビン	377t	99.0%
6 缶	635t	100.0%
7 発泡スチロール	106t	100.0%
8 廃油	1,657t	100.0%
9 紙類	2,581t	100.0%
10 粗大ごみ	165t	62.5%
11 その他不燃ごみ	1,325t	75.4%
12 廃蛍光灯	63t	89.0%
13 廃電池	8t	76.3%
14 割り箸	107t	99.1%
15 廃アルカリ・剥離剤	34t	59.5%
16 汚泥	4,127t	86.7%
17 廃エンジンオイル	—	—
18 店頭回収:アルミ缶	77t	100.0%
19 店舗回収:食品トレイ	25t	100.0%
20 店舗回収:牛乳パック	87t	100.0%
21 店舗回収:ペットボトル	313t	100.0%

全社リサイクル率(サマール・リサイクル含む) 84.3%

資源回収・リサイクルの促進

イオンモールでは、ご家庭の古新聞や古雑誌をお持ちいただいたお客さまに重量に応じたリサイクルポイントを発行し、一定のポイントがたまるとイオン商品券と交換するシステムを導入し、古紙のリサイクルを促進しています。回収はモールに設置した専用のボックスで行うため、お買い物のついでにいつでもお持ちいただける点でもお客さまからご好評をいただいています。また、お客さまのご家庭からペットボトルを回収し、WAONポイントを付与する取り組みも実施しています。



econo (エコノ) による古紙リサイクルポイントシステム(協力:国際紙パルプ商事株式会社)



ご協力いただいたお客さまにはWAONポイントがたまると、ペットボトルの自動回収機

コーポレート・ガバナンスに対する取り組み

当社はお客さまをはじめ、地域社会、お取引先、株主の皆さま、従業員などの各ステークホルダーに対する責任を果たしていくことが、長期安定的な企業価値の向上につながると考えており、より一層の経営の透明性と効率性の向上、コンプライアンス、リスク管理の強化を推し進め、さらなるコーポレート・ガバナンス体制の充実を図っていきます。

内部統制システム

取締役の意思決定に関する記録については、起案部門の各業務執行取締役が社内規定に従って決裁書、会議議事録などを作成し、適切に保存および管理します。取締役会を月1回開催するほか、必要に応じて適宜臨時に開催し、社長決裁以上の当社に重要なリスクの生じる恐れのある意思決定事項に関しては、社長の諮問機関として常務取締役以上の取締役および常勤監査役が中心メンバーとなる経営会議を設置して、さまざまな視点から協議を経た上で、社長決裁ないし取締役会決議を行います。

監査・モニタリング体制

当社は内部監査部門として、社長直轄の部署である経営監査部を設置しています。経営監査部は、全社各部署に対し業務監査を実施しており、内部統制を確実に機能させるとともにその有効性検証の一翼を担っています。監査結果は都度社長に報告され、経営会議および監査役に対して定期報告を実施しています。取締役は、当社の業務または業績に影響を与える事項、法令違反その他コンプライアンス上の問題のうち、当社に著しい損害を及ぼす恐れのある事実があることを発見したときは監査役会に速やかに報告します。監査役4名のうち2名は一般株主と利益相反が生じる恐れのない独立役員とし、監査役からの取締役に対する業務の執行状況についての報告要請には他の事項に優先して迅速かつ誠実に対応します。

リスク管理

災害・環境・コンプライアンスなどの事業リスクについては、全社レベルでのリスク管理機関として経営会議の下部機構としてのリスク管理委員会を設置して、当社全体のリスクの洗い出しを実施するとともに、リスク管理運営状況の把握、情報交換、リスク管理体制の継続的な見直しを図り、リスク管理の策定方針を起案します。この方針により「業務分掌規則」などで定められたそれぞれのリスク管理主管部門にて規則、取扱要領などの作成を行い、定期的に見直しを実施します。これらの周知については、社内の研修などにより教育を実施するとともに電子掲示板などで全従業員に徹底します。緊急かつ重大な損失の危険が発生した場合は、「経営危機管理規則」に基づき適切な情報伝達および意思決定を行い、被害を最小限に止めるなどの対応を行います。

反社会的勢力排除に向けた取り組み

コンプライアンス経営の徹底、企業防衛の観点から、反社会的勢力とはかかわりを持たず、不当な要求に対しては毅然とした態度で対応し、排除することが企業の社会的責任であることを認識しています。万一反社会的勢力による不当請求があった場合には、個人的対応は行わず、民事および刑事の法的対応を含め、外部専門家や捜査機関とも緊密な連携を構築し、組織的対応をするものとしています。また「公益財団法人千葉県暴力団追放県民会議」に加盟し、平素から警察、防犯協会などと緊密に連携して、反社会的勢力に関する情報収集に努め、社内啓蒙活動をしています。

イオンモール データ集

各ショッピングモールの2015年度データ
(2015年4月現在)

※防災協定の欄はイオン株式会社が包括提携協定・相互協力連携協定を締結しているものも含みます。

北海道	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	氷蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
イオンモール旭川駅前	2015年 3月	28,800	900	400	1,578	—	3	—	6	—	—	普通2

東北	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	氷蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
イオンモールつがる柏	1992年11月	40,000	2,600	72,000	857	2006年 8月	3	866	—	—	—	—
イオンモール下田	1995年 4月	59,000	4,000	50,000	1,399	2006年 7月	4	543	—	—	—	—
イオンモール盛岡	2003年 8月	46,000	2,800	26,000	1,585	2006年 8月	4	1,398	—	—	—	—
イオンモール盛岡南	2006年 9月	42,000	2,400	17,044	1,896	2006年 8月	3	1,214	—	—	—	急速1普通1
イオンモール秋田	1993年 9月	58,000	3,800	43,000	1,978	2006年 5月	6	9,754	—	—	—	—
イオンモール大曲	2008年10月	48,000	2,900	15,208	1,178	2008年10月	1	312	12	○	—	急速1普通1
イオンモール名取	2007年 2月	67,000	4,174	20,000	2,386	2007年 1月	4	1,586	27	○	○	普通2
イオンモール利府	2000年 4月	33,000	2,200	25,016	1,260	2006年 8月	2	509	21	—	—	—
イオンモール富谷	2003年 3月	27,000	1,400	8,592	1,074	2006年 6月	4	837	—	○	○	急速1普通1
イオンモール石巻	2007年 3月	40,000	2,600	19,205	1,094	2006年11月	3	1,132	16	—	○	—
イオンモール天童	2014年 3月	47,000	2,600	15,000	1,747	2010年10月	4	290	17	—	—	急速2普通2
イオンモール山形南	2000年11月	26,000	1,700	21,027	823	2010年10月	2	569	—	—	—	急速1普通1
イオンモール三川	2001年 7月	40,000	3,300	27,662	743	2006年 7月	3	1,267	—	—	—	急速1普通1

関東	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	氷蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
イオンモール水戸内原	2005年11月	78,000	4,100	49,000	3,004	2006年 8月	4	1,789	14	○	○	普通3
イオンモールつくば	2013年 3月	64,000	4,000	15,000	2,842	2011年10月	6	772	15	—	○	急速1普通2
イオンモール下妻	1997年11月	36,000	3,100	16,473	1,272	2006年 9月	2	160	14	—	○	—
イオンモール土浦	2009年 5月	58,000	3,300	20,000	2,140	2009年 6月	2	613	20	○	○	急速1普通1
イオンモール小山	1997年 4月	30,000	1,900	19,493	996	2006年 7月	3	820	—	—	○	急速1普通1
イオンモール佐野新都市	2003年 4月	32,000	2,300	11,527	1,046	2006年 7月	4	3,083	12	—	—	—
イオンモール太田	2003年12月	62,000	4,200	54,000	2,131	2006年 7月	5	1,100	14	—	—	普通3
イオンモール高崎	2006年10月	59,000	3,700	50,000	2,397	2007年11月	4	1,870	—	○	—	急速2普通2
イオンモール川口	1984年 4月	34,000	1,400	250	963	2006年11月	5	—	—	—	—	—
イオンモール川口前川	2000年11月	66,000	2,400	20,000	2,858	2006年11月	4	422	—	○	—	—
イオンモール羽生	2007年11月	75,000	5,000	90,000	3,042	2007年10月	7	1,609	21	○	○	—
イオンレイクタウンkaze	2008年10月	61,000	2,300	20,000	3,448	2008年10月	5	—	32	○	○	—
イオンレイクタウンmori	2008年 9月	99,000	6,100	50,000	5,941	2006年 8月	6	23,723	20	—	○	急速2普通2
イオンレイクタウン アウトレット	2011年 4月	23,000	1,100	1,000	721	2006年 8月	1	—	10	—	○	普通2
イオンモール春日部	2013年 3月	56,000	2,900	15,000	2,385	2006年 8月	6	676	17	○	—	急速3普通3
イオンモール北戸田	2004年11月	44,000	2,600	12,627	2,314	2006年 7月	3	—	—	—	—	急速1普通1
イオンモール与野	2004年12月	41,000	3,000	16,371	2,209	2006年 8月	3	155	6	○	—	急速1普通1
イオンモール浦和美園	2006年 4月	62,000	3,000	25,641	3,339	2006年 8月	4	74	16	—	○	急速1普通1
イオンモール富津	1993年 9月	28,000	1,350	32,000	783	2006年 8月	4	461	—	—	—	—
イオンモール成田	2000年 3月	65,000	4,000	46,000	2,329	2006年 8月	6	5,175	—	—	—	—
イオンモール千葉ニュータウン	2006年 4月	79,000	4,000	14,000	2,884	2007年 3月	6	2,616	—	—	—	急速1普通2
イオンモール幕張新都心	2013年12月	128,000	7,300	50,000	3,784	2007年 1月	18	270	43	—	○	急速4普通10
イオンモール木更津	2014年10月	84,000	4,000	61,570	2,468	—	3	397	11	—	○	急速2普通2
イオンモール津田沼	2003年 9月	27,000	1,300	1,549	2,084	2006年 7月	2	—	9	—	—	急速1普通1
イオンモール八千代緑が丘	2005年 3月	42,000	2,500	11,535	2,342	2006年 7月	3	357	—	○	○	急速1普通1
イオンモール柏	2006年 5月	30,000	2,000	7,896	1,732	2006年 8月	2	—	—	○	○	急速1普通1
イオンモール銚子	2010年 3月	31,000	3,200	35,000	1,092	2010年 3月	2	1,066	11	○	○	急速1普通1
イオンモール船橋	2012年 4月	36,000	2,300	17,346	2,222	2012年 3月	2	86	20	○	○	急速2普通1
ゆみーる鎌取ショッピングセンター	2000年 3月	28,000	1,400	4,461	1,109	2007年 1月	3	—	—	—	—	—
イオンマリンピア専門館	2003年10月	11,000	300	—	293	2007年 1月	1	—	—	—	—	—
イオンモールむさし村山	2006年11月	78,000	4,000	45,000	4,344	2006年 9月	6	1,485	—	○	—	急速1普通2
イオンモール日の出	2007年11月	64,000	3,600	58,000	2,766	2007年11月	4	1,529	16	○	○	—
イオンモール多摩平の森	2014年11月	24,000	1,260	600	1,923	2014年 9月	4	—	9	—	—	急速1普通1
イオンモール東久留米	2013年 4月	31,000	1,700	20,000	9,109	2013年 4月	4	—	9	○	○	普通4

関東(つづき)	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	水蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
イオン板橋ショッピングセンター	2000年 5月	35,000	900	—	1,529	2007年 9月	1	304	—	—	○	急速1普通1
イオンモール大和	2001年12月	35,000	1,900	20,000	1,763	2006年 4月	3	4,483	—	—	—	普通2
イオン海老名ショッピングセンター	1993年11月	32,000	1,500	—	1,052	1994年 4月	1	63	16	—	—	—
イオン相模原ショッピングセンター	1993年 8月	27,000	1,500	34,001	1,651	1992年 4月	3	—	17	—	—	急速1普通1
イオン秦野ショッピングセンター	1995年11月	28,000	1,935	6,625	1,457	2006年 8月	2	1,418	—	—	○	急速1普通1

中部	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	水蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
イオンモール甲府昭和	2011年 3月	45,000	2,500	20,000	2,018	2011年 2月	5	362	17	○	—	普通3
イオンモール佐久平	1999年 4月	25,000	2,000	19,247	949	2011年 9月	2	361	23	—	—	急速1普通1
イオンモール新築田	2005年 4月	33,000	1,700	14,210	1,043	2006年 7月	3	114	10	—	—	急速2普通1
イオンモール新潟南	2007年10月	51,000	4,000	30,396	2,338	2008年 7月	4	936	14	○	—	急速1普通1
イオンモール高岡	2002年 9月	62,000	3,600	44,000	1,896	2007年12月	3	2,545	—	—	—	—
イオンモールかほく	2008年10月	62,000	3,300	29,391	1,557	2008年10月	2	283	12	—	○	急速1普通1
イオン御経塚ショッピングセンター	1998年 3月	33,000	1,700	—	878	2012年 3月	1	156	—	—	—	急速1普通1
イオンモール浜松志都呂	2004年 8月	65,000	3,500	38,000	2,345	2011年12月	5	556	58	—	○	—
イオンモール富士宮	2001年12月	40,000	2,500	24,231	1,685	2006年 9月	2	1,006	—	○	—	—
イオンモール浜松市野	2005年 6月	63,000	4,000	19,299	2,883	2006年 9月	3	570	16	—	○	急速1普通1
イオンモール岡崎	2000年 9月	80,000	4,300	48,050	4,065	2007年 3月	9	876	42	—	—	普通3
イオンモール東浦	2001年 7月	55,000	5,000	25,000	1,431	2006年 7月	7	1,034	—	—	—	普通3
イオンモール木曽川	2004年 6月	66,000	4,400	15,000	2,452	2014年 9月	3	3,859	—	○	—	—
イオンモール新瑞橋	2010年 3月	38,000	1,700	5,000	2,047	2010年 2月	6	74	22	○	○	普通2
イオンモール名古屋茶屋	2014年 6月	75,000	4,100	18,956	2,946	2012年 1月	3	610	8	—	○	急速2普通2
イオンモール名古屋みなと	1999年11月	44,000	3,000	36,484	1,387	2006年10月	2	38	—	—	—	—
イオンモール熱田	2003年 7月	47,000	3,800	12,331	2,527	2006年 7月	3	135	—	—	—	—
イオンモール扶桑	2003年 8月	34,000	2,800	17,887	1,422	2006年 7月	1	321	31	—	○	急速1普通1
イオンモールナゴヤドーム前	2006年 3月	48,000	2,800	12,736	3,120	2009年 5月	3	—	16	—	—	—
イオンモール大高	2008年 3月	65,000	4,000	25,000	3,488	2008年 2月	2	38	12	—	○	—
イオン春日井ショッピングセンター	1999年 3月	33,000	1,540	—	1,055	2009年 7月	1	138	20	—	—	急速1普通1
イオンモール大垣	2007年 4月	43,000	2,500	29,253	1,049	2007年 3月	3	303	10	—	○	—
イオンモール各務原	2007年 7月	77,000	5,700	62,643	3,740	2007年 7月	2	592	20	—	○	急速1普通1

近畿	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	水蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
イオンモール鈴鹿	1996年11月	70,000	4,200	36,000	2,390	2006年 8月	4	2,679	—	—	—	—
イオンモール東員	2013年11月	58,000	3,500	15,000	2,309	2013年10月	3	771	15	—	○	急速2普通2
イオンモール四日市北	2001年 1月	42,000	3,000	38,478	1,303	2008年 8月	1	1,096	—	○	○	—
イオンモール明和	2001年 7月	34,000	3,100	39,467	1,016	2012年 3月	2	321	4	—	○	—
イオンモール桑名	2003年 8月	38,000	4,000	—	989	2004年 3月	2	—	—	—	—	—
イオン津ショッピングセンター	1978年 9月	12,187	1,647	—	833	2006年12月	2	50	—	—	—	—
イオンモール草津	2008年11月	78,000	4,300	20,000	3,091	2008年10月	5	2,064	18	○	○	急速2普通1
イオン近江八幡ショッピングセンター	1991年 4月	35,000	2,100	—	940	1996年 3月	2	—	—	○	—	—
イオンモール京都五条	2004年 3月	36,000	1,600	11,000	2,172	2010年 9月	4	453	—	○	—	—
イオンモールKYOTO	2010年 6月	50,000	1,100	—	2,272	2011年 9月	3	856	—	—	—	—
イオンモール京都桂川	2014年10月	77,000	3,100	10,553	4,136	2014年10月	5	581	23	—	○	急速4普通4
イオンモール久御山	1999年 6月	39,000	2,500	22,191	1,860	2011年 9月	2	299	7	—	○	急速1普通1
イオンモール高の原	2007年 5月	44,000	2,000	17,158	2,572	2011年9月京都 2011年3月奈良	3	25	15	○	○	急速1
イオン洛南ショッピングセンター	1998年 7月	26,000	1,800	8,233	1,288	2011年 9月	2	147	—	—	—	—
イオンモール寝屋川	1978年 3月	24,000	700	3,200	902	2010年 6月	3	—	—	—	—	—
イオンモール堺北花田	2004年10月	72,000	2,800	6,000	3,378	2006年 9月	5	829	6	○	○	—
イオンモールりんくう泉南	2004年11月	76,000	4,300	66,000	3,038	2005年 9月	5	1,674	—	○	○	急速1
イオンモール鶴見緑地	2006年11月	53,000	2,200	12,000	1,735	2010年 6月	5	714	—	○	—	急速1
イオンモール日根野	1995年 4月	29,787	1,933	32,781	1,141	2011年 4月	2	441	42	—	—	急速1普通1
イオンモール大日	2006年 9月	56,000	2,464	15,416	3,273	2008年 8月	1	763	16	—	○	急速1
イオンモール大阪ドームシティ	2013年 5月	34,000	670	4,200	1,595	2014年 1月	5	—	16	—	○	普通4
イオンモール茨木	2001年 1月	46,000	2,000	—	2,521	2008年 9月	2	214	—	○	—	急速1普通1
イオンモール伊丹	2002年10月	57,000	2,800	30,000	2,337	2012年 2月	4	1,305	—	○	○	—
イオンモール神戸北	2006年11月	55,000	4,000	56,000	2,728	2006年10月	7	895	—	—	—	—
イオンモール姫路リバーシティ	1993年11月	36,000	2,600	11,817	1,543	2013年 3月	2	287	32	—	—	急速1普通1
イオンモール猪名川	1998年 4月	21,000	2,000	38,818	1,249	2012年 2月	2	116	9	—	—	急速1普通1
イオンモール姫路大津	2004年12月	34,000	2,520	16,151	1,713	2012年 2月	2	275	—	○	○	急速1普通1
イオンモール加西北条	2008年11月	33,000	2,100	11,864	1,106	2012年 2月	4	459	14	○	○	急速1普通1

近畿(つづき)	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	水蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
イオンモール伊丹昆陽	2011年 3月	48,000	2,400	10,300	2,371	2012年 2月	6	111	23	○	○	普通4
イオン明石ショッピングセンター	1997年10月	58,000	3,500	—	1,375	2012年 2月	2	441	—	○	—	—
イオンモール橿原	2004年 4月	80,000	5,000	25,000	3,510	2010年11月	5	7,692	15	○	○	—
イオンモール大和郡山	2010年 3月	67,000	4,200	20,000	2,636	2010年 3月	4	1,027	11	○	—	—
イオンモール奈良登美ヶ丘	2006年 7月	31,000	1,560	15,118	1,316	2007年 6月	2	165	3	—	—	—
イオンモール和歌山	2014年 3月	69,000	3,500	20,000	2,712	2014年 3月	4	1,901	17	—	○	急速2普通4

中国・四国	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	水蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
イオンモール日吉津	1999年 3月	47,000	2,900	25,486	1,303	2006年 8月	2	7,105	11	○	○	急速1普通1
イオンモール鳥取北	2000年 4月	48,000	3,100	9,000	1,270	2007年 3月	2	794	10	—	—	急速1普通1
イオン松江ショッピングセンター	1994年 5月	32,000	1,800	—	1,165	1997年10月	2	377	20	○	—	—
イオンモール倉敷	1999年 9月	83,000	4,700	70,000	3,798	2006年 8月	6	14,073	26	—	○	急速4
イオンモール岡山	2014年12月	92,000	2,500	7,898	6,497	—	5	—	12	—	○	急速2
イオンモール津山	1996年12月	30,000	2,000	18,668	965	1998年 3月	2	787	10	—	—	急速1普通1
イオンモール広島府中	2004年 3月	76,698	4,215	64,000	3,469	2007年 4月	4	1,383	—	○	—	—
イオンモール広島祇園	2009年 4月	50,000	2,800	20,000	2,028	2009年 9月	4	1,319	14	○	○	—
広島段原ショッピングセンター	2011年 9月	24,000	800	—	523	2012年10月	1	—	—	—	—	—
イオンモール高松	2007年 4月	47,000	3,000	12,500	1,229	2007年 6月	2	63	16	—	○	急速1普通1
イオンモール綾川	2008年 7月	57,000	4,000	49,044	1,727	2008年 6月	3	1,316	16	—	○	急速1普通1
イオンモール新居浜	2001年 6月	67,000	3,500	35,000	1,552	2006年 8月	5	1,552	10	—	○	—
イオンモール高知	2000年12月	57,000	3,100	23,000	2,679	2007年 9月	6	3,310	—	—	○	急速1普通1

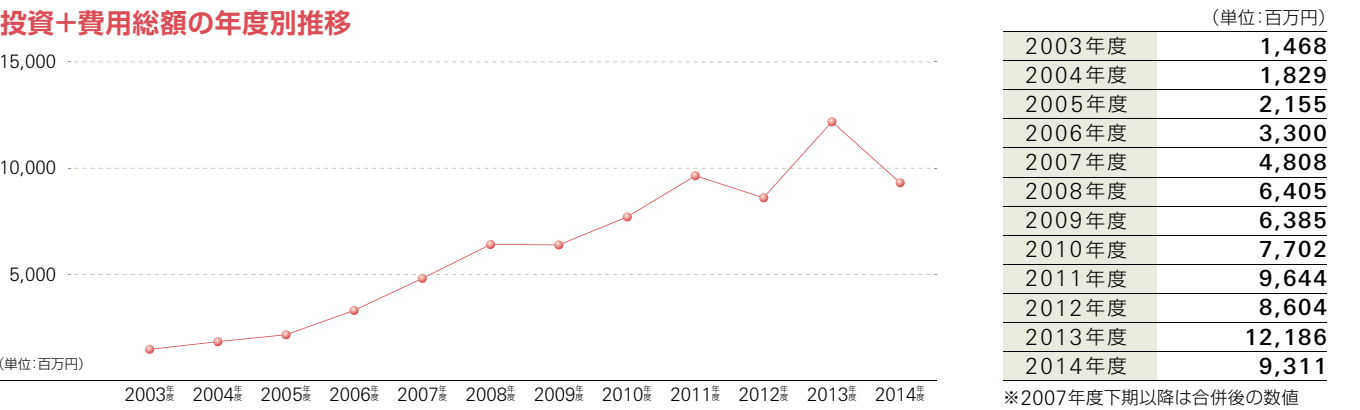
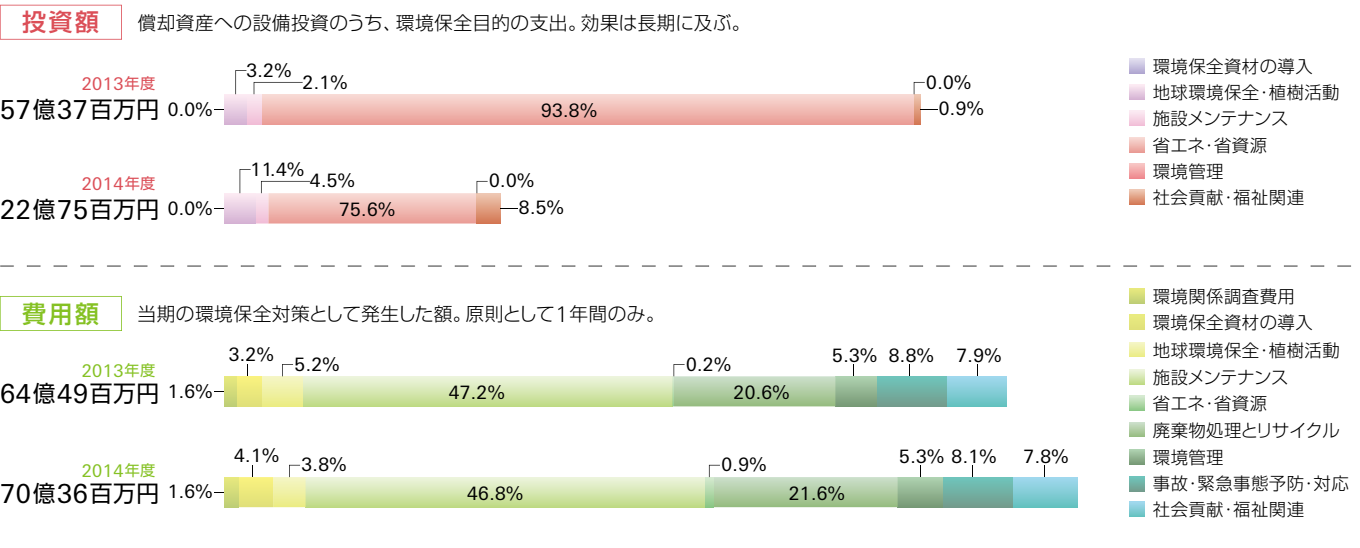
九州・沖縄	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	水蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
イオンモール福岡	2004年 6月	90,000	5,600	30,000	2,826	2012年 4月	6	1,482	21	○	—	—
イオンモール直方	2005年 4月	58,000	3,400	39,000	1,871	2006年 8月	4	1,088	20	—	—	—
イオンモール筑紫野	2008年12月	69,000	3,600	20,000	2,266	2009年 4月	6	2,903	17	—	○	—
イオンモール大牟田	2011年 3月	57,000	4,800	20,000	1,299	2011年 9月	3	1,052	16	—	—	普通1
イオンモール福津	2012年 4月	61,000	3,500	27,000	1,439	2012年 3月	4	1,136	25	—	○	普通2
イオンモール八幡東	2006年11月	44,341	2,631	19,242	1,917	2007年 8月	2	328	—	—	○	普通2
大津ショッピングプラザ	1987年10月	8,500	600	—	209	2013年 7月	2	—	—	—	—	—
イオンモール宇城	1997年11月	63,000	3,300	50,000	979	2007年11月	2	346	—	○	—	—
イオンモール熊本	2005年10月	73,000	4,800	27,000	2,996	2006年10月	3	1,681	—	○	—	普通2
イオンモール三光	1996年12月	40,000	2,500	36,000	758	2006年 2月	3	829	—	—	—	—
イオンモール宮崎	2005年 5月	70,000	4,000	56,000	2,456	2006年 9月	6	3,095	—	—	○	普通1
イオンモール都城駅前	2008年12月	28,000	1,700	8,000	1,132	2008年11月	3	636	—	—	○	—
イオンモール沖縄ライカム	2015年 4月	78,000	4,000	26,000	3,430	—	6	—	—	—	○	急速4普通4

PM	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	水蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
ショッピングセンター ソカ ふじみ野	2012年 6月	9,400	400	—	544	—	2	—	—	—	—	—
mozo wondercity	2009年 4月	101,000	5,000	20,000	4,248	—	3	433	14	○	—	急速1普通1
神戸ハーバーランドumie	2013年 4月	85,000	3,000	—	3,036	—	3	—	—	—	—	急速2
ならファミリー	1972年 3月	86,000	2,000	300	1,991	—	2	204	—	—	—	—

イオンモール株式会社では、環境保全活動や社会地域貢献活動のコストを把握し、CSR経営の指標とし、運用しています。2014年度の環境保全活動における投資と費用の合計は85億71百万円となりました。メガソーラー事業運用開始に伴い多額の投資を行った2013年度と比較して、73.7%となります。ハード面での投資としては、既存モールも含めた電気自動車の充電器設置に力を入れ、前年度比で531.3%に達しています。ショッピングモール運営に携わる当社が取り組むインフラ整備投資として、今後も継続してまいります。また、社会地域貢献活動では、投資と費用の合計が7億39百万円となり、2013年度比で133.3%となりました。働きやすい職場の実現の観点から、イオンモール幕張新都心内に「ゆめみらい保育園」を設置した投資が大きく関わっています(P11参照)。費用については、環境保全活動は前年度比109.2%、社会地域貢献活動は同107.6%で推移していますが、大気汚染防止や植栽管理など、教育強化に取り組んできた項目についてはコストカットにも成功しつつあります。CSR会計全体としては、前年度比で76.4%の計上となりました。

環境保全コストの主な内訳

	投 資			費 用			総合計		
	2013年度	2014年度	前年比	2013年度	2014年度	前年比	2013年度	2014年度	前年比
環境関係調査費用	—	—	—	104	109	105.2%	104	109	105.2%
環境保全資材の導入	—	—	—	208	290	139.1%	208	290	139.1%
地球環境保全・植樹活動	185	259	140.4%	336	267	79.7%	521	527	101.3%
施設メンテナンス	120	101	84.6%	3,038	3,289	108.3%	3,158	3,391	107.4%
省エネ・省資源	5,383	1,719	31.9%	16	65	410.0%	5,399	1,785	33.1%
電気自動車充電スタンド	18	118	630.5%	4	3	83.0%	22	121	531.3%
エスカレーター	18	61	341.1%	—	—	—	18	61	341.1%
太陽光発電システム	3,991	732	18.4%	1	20	1177.9%	3,993	753	18.9%
LED	839	647	77.1%	—	—	—	839	657	77.1%
節水機器	111	70	63.1%	—	—	—	111	70	63.1%
その他	404	89	22.1%	10	41	410.1%	414	120	31.6%
廃棄物処理とリサイクル	—	—	—	1,326	1,519	114.6%	1,326	1,519	114.6%
環境管理	—	—	—	341	374	109.6%	341	374	109.6%
事故・緊急事態予防・対応	—	—	—	569	572	100.5%	569	572	100.5%
環境保全活動 小計	5,688	2,080	36.6%	5,942	6,490	109.2%	11,631	8,571	73.7%
社会貢献・福祉関連 小計	48	194	401.8%	506	545	107.6%	554	739	133.3%
総合計	5,737	2,275	39.7%	6,449	7,036	109.1%	12,186	9,311	76.4%



期間:2014年3月1日～2015年2月28日 範囲:イオンモール(株)ISO14001適用範囲内とする

①複合コスト 環境目的以外のコストと結合している場合についても、原則として全額計上しています。

②人件費 イオンモール従業員の人件費は原則として計上していません。ただし「施設メンテナンス」「廃棄物処理とリサイクル」は人件費を計上しています。

③投資 期中に発生した環境負荷低減の関連機器および施設への投資額で計上しています。(リース契約の場合は、費用に計上)導入後、移管もしくは変動したのもも導入時の金額が判明している場合は投資として計上しています。(氷蓄熱システムなど)

④減価償却費 減価償却費は計上していません。

第三者意見

立教大学経営学部教授

高岡 美佳 氏

【プロフィール】

青山学院大学経営学部卒。東京大学大学院経済学研究科で博士号取得。大阪市立大学助教授、立教大学経営学部助教授などを経て2009年4月より現職。主な研究テーマは、流通経済論、CSRとブランド価値、システムと消費者行動。著書に「サステナブル・ライフスタイルナビゲーション」(日科技連出版社、2007年)など。



<評価できること>

■全体を通じて、「地域と共に『暮らしの未来』をつくるLife Design Developer」というイオンモールの基本理念が明確に反映されたCSRレポートだと思います。モールで働くパートナーや自社社員、出店地域で暮らす人々を含めたステークホルダーの生の声が多く掲載されており、顔の見える報告書となっている点も特徴です。

■トップメッセージにあるように、ショッピングモールを取り巻く経営環境は大きく変わりつつあります。2015年4月末時点でイオンモールは、国内141、中国6、アセアン3のモールを展開していますが、すでに大規模商業施設数が一定数に達している国内においては今後ますます地域特性に合わせた個性と新しい価値の提案が求められますし、海外出店も加速していくでしょう。このような状況の中、同社は、「アジア50億人の心を動かす企業へ」という経営ビジョンを実現すべく、商業施設の枠組みを越えて、豊かで新しい暮らしや価値観を創造・提供することで地域や社会、そして地球環境に貢献しようとしていることが、報告書を読むとわかります。本業を通じたCSRを心がける企業姿勢を高く評価したいと思います。

■特集1(p.10-11)では、イオンモールと地域雇用の関係が紹介されています。ここでは、具体的に出店地域の雇用創出効果が試算されており、同社が地域の安定的な雇用に関心を払っていることがわかります。また同社は、広い休憩室やパウダールーム、モールの従業員専用のコンビニエンスストアを設置し、2014年2月にはグループ事業内保育園を開園するなど、人々が安心して快適に働くことができるような環境を整えています。広く見ればショッピングモール運営という事業の一環ではありますが、直接的な利益に結ばない投資を小売業はしにくいものです。自社の社員だけでなく、モールにテナントとして入店している店舗で働く従業員を大切なステークホルダーとして位置づけ、地域の人々とともにモールを作り上げていくための各施策はぜひ続けていただきたいと思います。

■特集2(p.12-15)と「環境への配慮」(p.32-35)からわかるように、イオンモールは地球環境への配慮の点でも非常に高い意識を持っています。同社は、太陽光発電システムの導入やモール壁面の緑化、EV(電気自動車)充電器の設置、生物多様性の保持、廃棄物削減、リサイクルなど、多方面から環境保全に力を注いでいます。とりわけ注目すべきは、2014年6月にカンボジアの首都プノンペンにモールをオープンした際の環境対応でしょう。建築基準法も環境基準も存在しないカンボジアで、「基準は課せられるものではなく、つくるもの」という意識を持ち、自主的に厳しい基準を設けてモールを建設・運営しています。太陽光モジュールの設置やカンボジアで初の試みとなるインバータ制御の空調、膜式ろ過装置を備えた浄化槽の設置などそれ自体も素晴らしいですが、何より、明確な環境保全意識を持ってモールの建設・運営に携わっている点に、同社の環境意識の高さが見てとれます。

<要望したいこと>

■CSR活動を適正かつ継続的に改善していくためにはPDCAサイクルの導入が不可欠です。イオンモールが自ら重要だと考えて実施している主なCSR活動について、その目的や取り組み内容、期間、目標値、達成度などを一覧で示したアクションプランの掲載を検討していただきたいと思います。

■もう一つは、社員に関するデータ(p.29)の拡充です。2013年に人事統括部の組織下に教育部を新設して人材育成に力を入れるなど、一人ひとりが能力を発揮して生き活きと働ける職場環境が整備されているのではないかと想像しますが、現時点では、ダイバーシティやワークライフバランスに関するデータが充実しているとは言えません。次年度以降は、例えば、女性管理職比率や介護休職者数などを掲載してはいかがでしょうか。



最後までお読みいただきましてありがとうございました。

当社のCSR活動に関する情報は
ウェブサイトにも順次掲載してまいります。
どうぞご参照ください。

イオンモール CSR

検索



イオンモール株式会社

〒261-8539

千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1 イオンタワービル7階

TEL:043-212-6348 FAX:043-212-6779

<http://www.aeonmall.com>

イオンモール株式会社は、
環境マネジメントシステムの
国際規格「ISO14001」の
認証取得企業です。

